



今週の
お言葉



YasZone
<http://yaszone.jp/>

書道に対する憧れって、実は凄く強くて、ところが字が下手でコンプレックスがあるもんですから、筆をとる事なんてないまま、今の今まで生きて参りました。あ、憧れているのは「書道」でありまして、「習字」ではありません。昔々、小学校時代の習字の授業が嫌で嫌でたまりませんでした。今となつてはその先生が嫌だったのかなとも思います。「何だこの下手な字は。ははは」と先生に笑われてから、積極的に筆を握る事は一切無くなったのであります。

社会人になってから相田みつを氏の書を観賞する機会があり、脳に電気が走った気がしました。書道への憧れを抱いたのはその時からであります。それまでの私にとって、書道は「明朝体調のお手本をひたすら正確に写す」というモノだった訳ですが、そうした偏った認識が間違いであった事が分かりました。相田みつを氏が、私が経験した小学校の習字

の授業に出席していたとしたら、氏の書は著しく低い評価を下されてしまった事でしょう。あの沼津市立門池小学校の習字の授業の方が間違っていたのです。書道では好きな事を好きなように書けば良いのです。そんな簡単な事に気付くまでに四十年も掛ってしまいました。

相田みつを氏の書は、書としてのみならず、詩としても優れている事は、衆目の一致するところでありましょう。嗚呼、詩についても私には大いなる憧れが有るので御座います。ところが中々自分で詩を書くようになりますと、照れくささも手伝ってか上手くいかないのです。

私は読書量だけは多い方でありまして、日々乱読しておりますと、気になる表現が結構ある事に気がきます。自分で書かなくても、詩と云いますかフレーズと云いますか、言霊は、実は巷に溢れているのであります。ところがほとんどの場合、これらは扁平な活字として我々の目に触

れる事になります故、多くの素晴らしいフレイズは右から左へと受け流されていってしまうのが現実。嗚呼、この珠玉のフレイズが書になっていたら……。そう思う事もしばしばなのであります。

フレイズに関し、何もそのソースを活字だけに限っている訳ではありません。テレビドラマや映画、漫画にも素晴らしい表現を発見する事が出来ます。インターネット上の掲示板もかりです。私はメディアに対する一切の偏見を持たない男であります。活字中毒者であると同時に、ツタヤ・ディスカスのヘビュウザでもありますし、劇画を中心に漫画も蔵書の一部となっています。何でも来いなのであります。

私の目に触れた珠玉のフレイズを「今週のお言葉」として皆様にご案内しようとするのが今回の企画です。あくまでもYasによる偏見に満ちた選択抽出の上、お言葉のソースや、これらのお言葉に対する様々な

想いを一週間に一篇ずつ書き連ねていくというこの企画。いつまで続かないか分かりませんが、のんびりボチボチ書いていこうと思います。

2010年8月27日

目次

【001】	TBSテレビドラマ「3年B組金八先生」より	12
【002】	藤子不二雄「どらえもん」より	17
【003】	浅田次郎「きんぴか」より	22
【004】	コナミ製ゲームソフト「メタルギア・ソリッド」より	27
【005】	五木寛之「生きるヒント」より	35
【006】	東野圭吾「ダイイング・アイ」より	40
【007】	新約聖書「ルカ福音書23・34」より	44
【008】	村山由佳「天使の梯子」より	52
【009】	三浦しをん「風が強く吹いている」より	58
【010】	宮部みゆき「模倣犯」より	65
【011】	加藤諦三「愛されなかった時どう生きるか」より	72
【012】	養老孟司「バカの壁」より	77
【013】	テレビ朝日／東映ドラマ「相棒」より	82
【014】	高任和夫「仕事の流儀」より	90
【015】	湊かなえ「少女」より	94
【016】	熊谷守一「へたも絵のうち」より	101
【017】	根岸栄一「ノーベル化学賞受賞記念座談会」より	104
【018】	芥川龍之介「河童」より	107
【019】	押井守「凡人として生きるということ」より	112
【020】	アルベール・カミュ「異邦人」より	118
【021】	安部公房「砂の女」より	123

目次

【022】	江國香織「神様のボート」より	126
【023】	三島由紀夫の言葉より	130
【024】	角田光代「空中庭園」より	133
【025】	いきものがかり「茜色の約束」より	135
【026】	浦沢直樹「20世紀少年」より	138
【027】	井上靖「氷壁」より	141
【028】	有島武郎「生まれいずる悩み」より	144
【029】	吉浦康裕監督作品「イブの時間」より	148
【030】	石川啄木「時代閉塞の現状」より	152
【031】	内村鑑三「一日一生」より	157
【032】	国木田独步「武蔵野」より	159
【033】	島本和彦「無謀キャプテン」より	163
【034】	夏目漱石「行人」より	170
【035】	宮崎駿監督作品「となりのトトロ」より	172
【036】	坂口安吾「白痴」より	175
【037】	村上春樹「1Q84」より	179
【038】	桐野夏生「東京島」より	182
【039】	西崎義展「宇宙戦艦ヤマト」より	185
【040】	広沢虎造「浪曲・森の石松金比羅代参」より	189
【041】	サン・テグジュベリ「星の王子様」より	193
【042】	白井儀人「クレヨンしんちゃん」より	197

目次

【043】	士郎正宗「攻殻機動隊」より	204
【044】	中村俊輔「察知力」より	208
【045】	AKB48「会いたかった」より	212
【046】	あだち充「タツチ」より	216
【047】	水野敬也「夢をかなえるゾウ」より	223
【048】	辻村深月「スロウハイツの神様」より	227
【049】	宮部みゆき「スナーク狩り」より	232
【050】	夏川草介「神様のカルテ」より	242

あのね 立派な人になんかならなくてもいいの

感じの良い人になってもいい

【001】TBSテレビドラマ「3年B組金八先生」より

私

は昭和四十年生まれで御座いまして、武田鉄矢主演の「3年B組金八先生」をオンタイムで見た世代であります。オンタイムもオンタイム、何しろ劇中の中学三年生たち・・・、田原俊彦、近藤真彦、野村義男、三原じゅん子、鶴見辰吾、杉田かおる、に対して一年遅れの中学二年生だったのですからね。

金八先生の放映が始まったのは、確か昭和五十四年（1979年）の十月からだったと記憶しています。中学三年生の苦悩をそのまま実際の時間軸に沿ってドラマ化し、内申書についてのトラブル、未婚の妊娠、

不良化、受験勉強への焦り、高校入試合格発表、卒業式、金八先生との別れ、という具合に話は進みます。視聴者である我々が思春期まったただ中だった事もあり、感情移入しまくりでありました。

むしろ作中人物等と同級の、私よりも一つ上の学年の人よりも真剣にどっぷりとドラマの世界に浸れたようにも思います。ドラマはそのタイトルの通り中学三年生の苦悩をテーマにしている訳ですが、実際の中学三年生は自分自身の高校受験スケジュールと重なってしまいますから、ドラマに熱中するどころではなかったのではないのでしょうか。

鶴見辰吾扮する宮沢保が、杉田かおる扮する浅井雪乃を妊娠させてしまったたり、しかも中学在学中に出産する事になったりといった、現実の生活とは掛け離れていた設定もありましたので、一部の親には不評であったとも聞いています。しかし、好きな人との純愛を貫き通す姿勢は、

多くの中学生の共感を確かに得ていました。

当時まだ家庭用ビデオのある家なんてほとんど無い状態でしたから、ドラマは放映時間を待って、リアルタイムに視るしかありませんでした。当時、私の同級生はほとんどがこのドラマに夢中で、土曜日の朝といえど金八先生の話題で持ちきりでありました。あ、一応お若い方にも分かるように解説致しますと、当時は週休二日制ではありませんでしたので、土曜日も学校があつたのですよ。

金曜日の夜八時からの放送でしたので、「金八」と命名されたのだそうであります。当初はかなりいい加減な設定で開始されたのですね。

武田鉄矢扮する坂本金八先生、とにかく語るんであります。授業のほとんどが人生訓といっても過言ではありません。実際の中学の先生と違

って、やはりそこはドラマですから、かなり演出も入っているでしょうが、非常に共感出来る事をおっしゃるんですな。こんな先生に受け持たれたい。こんな先生にならどんな事でも相談出来るのに、と思いましたもの。

あのね 立派な人になんかならなくてもいいの 感じの良い人になつて下さい

泣きましたねえ。我々は悪名高き、全県統一実力試験世代です。静岡県の中学生全員が共通の実力試験を受験して、その結果で成績をつけようという荒っぽい時代。偏差値至上主義的な風潮の中で、こんなに人間的な言葉を耳にする機会など、中々ありませんでしたからなあ。その後の生活の中で、金八先生のお言葉を思い出す場面まではありませんでしたが、良い事言ってたよなあという印象は常に持っていましたし、あん

な大人になりたいなあと強く思っております。

そういう意味では我々は、真の「金八世代」だったと云えそうです。だって、多感な中学時代に影響を受けただけでなく、結婚式には海援隊の「贈る言葉」を歌いあつた世代なのですから。金八先生は、今でも我々にとって特別な存在なのであります。

もう少しうまくなっつてから練習した方が

【002】藤子不二雄「ドラえもん」より

ドラえもんと共に成長したと言っても良いくらい、ドラえもんに親しみながら育ちました。かつて小学館から「幼稚園」という月刊誌が刊行されておりまして、うちでは私が幼稚園年中の時から定期購読してもらっていたのですが、同じタイミングでそこにドラえもんの掲載が開始されたのが、私のドラえもんとの出会いであります。私の成長に合わせて購読雑誌は「幼稚園」から「小学一年生」「小学二年生」・・・という具合に変わっていきましたが、雑誌の学年アップに合わせてドラえもんの連載も継続しておりました。

当時、のび太は私よりも七つも年上の「お兄ちゃん」で、劇中では小

学五年生という設定だったように記憶しています。まだテレビアニメ版は無かった頃のお話です。毎月登場する様々な秘密道具にワクワクし、雑誌が届くのが楽しみで楽しみで仕方ありませんでした。まだ宅配便サービスなど世に存在しておらず、近所の本屋さんが「主婦の友」と書かれた箱を荷台に括りつけたスーパーカブで、直接、配達してくれていた時代の事があります。

ドラえもんが居たらなあ。何度そう考えたか知れません。ドラえもんと一緒に暮らすのび太が羨ましくてたまりませんでした。自分がのび太の立場だったら、もっと上手くドラえもんと付き合うのになあ。秘密道具をもっと活用するのになあ、と常々考えていた記憶があります。

スキーに行く事になって、現地で恥を搔く事の無いようにと、ドラえもんが出してくれたスキー練習用の道具を前にしたのび太の言葉が、「も

う少しうまくなつてから練習した方が・・・」でありました。練習においても恥を掻きたくない一心だったのでしようが、論理矛盾をサラリと含む言い回しと云い、のび太の性格を端的に表している名台詞と云えましよう。

「なんだよお、のび太のくせにい」に代表されるように、当時のび太といえは、駄目な男の代表でありました。あらゆるチャレンジを回避しようとし、如何なる状況をもドラえもんの出してくれた秘密道具で乗りきろうとするのび太。しかも一旦、秘密道具を使う事で優位に立つと、友人に対して傍若無人とも呼べる態度で接する事もしばしば。「やゝい、ここまでおいで」という例の厭味な態度であります。それでも友人からも読者からも決定的に嫌われる事がなかったのは、彼の内包する間抜けさが、実は万人に共通するモノであったからなのかも知れません。

「もう少しうまくなってから練習した方が・・・」。この一見矛盾に満ちた、ある意味のび太らしい台詞をみて、当時は大笑いしたものです。しかし今、冷静に考えれば、自分自身も似たような事を何度もやっている事に気がきます。

家から三十キロ程のところに和田峠という峠がありまして、地元のサイクリストからは「鬼の和田」といって恐れられております。有名な激坂なのであります。実は、まだ和田峠未経験だった頃に「今度、和田峠に激坂の練習に行きませんか」と誘われて「いえいえ、もう少し上手くなってから練習に行こうと思いますので今回はちよつと・・・。」と答えました。事がありました。こりやのび太と何ら変わらない発想だな、と一人苦笑いをした経験が御座います。

人前で恥を掻きたくないという思いは、それが大会本番であろうと単

なる練習であろうと、程度の差こそあれ本質的な面ではあまり変わりがありませぬ。のび太が「もう少しうまくなつてから練習した方が・・・」と言つたのは、ドラえもんに下手くそで惨めな状態の自分を見られたくなかつたからであり、実は、大いに共感し得る行動なのでありました。

私も自信が無い場合、誰かと一緒に行つたりせず、ほぼ百パーセント秘密特訓方式を採用しております（笑）。事実、マウント富士ヒルクライムの為の練習は、友人の誘いを断つてまで単独登坂としましたからねえ。つくづく人間は見栄の動物なのでありますなあ。

いいがおぬえら

こうして下せえつて拜んでいるうち

どうにも変わりやしねえ

こうすつから見て下せえと神仏に誓つて

初めて変わるてえもんだ

人生そんなもんだぜ

【003】浅田次郎「きんぴか」より

知らぬ人など居ない程の有名作家である浅田次郎氏であります、氏

の作家としての知名度は、短編集「ほっほや鉄道員」で1997年に第117回

直木賞を受賞された頃を境に、急速に高まったと云われています。

実は私、氏がまだあまり有名ではなかった時代からの熱烈なファンでありまして、氏は元々「悪漢小説」^{ビカレスク}を得意フィールドとしておりました。

名門中央大学付属杉並高校卒業後、自衛隊に入隊し、その後アパレル業界や、更には一説によると暴力団の準構成員まで経験されているそうでもあります。そうした異色の経歴を元にした小説カテゴリーが、氏の悪漢小説であつたという訳です。私は氏の悪漢小説^{ビカレスク}が大好きでありましたけれども、あくまでも二流の作家に過ぎないというのが、氏に対する当時の一般的な評価であつたかと思えます。

1994年に発表された「地下鉄メトロに乗って」^{ストロ}を読んで衝撃が走りました。私は読む事が大好きでありまして、読書量だけは結構なものなのであります。文章を書くのは苦手な癖に、目だけは自然と肥えて参ります。

僭越ながらその時の印象は、「この作家は化ける」でありました。文章

には風格が漂い、読者を引きつけるストーリープロットも非常に緻密でした。文章が丁寧で丁寧に拵こしらえられているのです。私の直感通り、翌年の1995年に、「地下鉄メトロに乗って」は吉川英治文学新人賞を受賞しました。

1996年の「蒼穹そらぎゆうの昴すばる」で私の抱いていた印象は確信へと変わりました。素晴らしい文章。氏は屈指のストーリーテラーとして、文壇の階段を駆け上がっていきました。1997年の「鉄道員」での直木賞受賞は、氏の実力からいえば必然であつたと云えましょう。

1997年98年は、氏の爆発の年でありました。「活動しゃしん寫眞の女」「月のしずく」「珍妃ちんびの井戸」「見知らぬ妻へ」「霞町物語」「天国までの百マイル」と矢継ぎ早に小説が紡ぎ出されました。読むもの読むもの全てにおいて涙が止まらないなんて……。まさに奇蹟であります。

そういえば「鉄道員」のオビには、「あなたに起こる小さな奇蹟」って書いてありましたっけ。

浅田次郎といえば泣かせるストーリーテラー。そういう認識が一般化するにつれ、逆に、氏の昔の文体、いわゆるピカレスクが懐かしく思えてきました。もう一度氏のピカレスクを読んでみよう。以前 テンザン・ノベルズから出されていた「きんぴか」が光文社から新装再刊になつておりましたのでこれを購入し、再び読んでみる事に致しました。

いいかおめえら。こうして下せえつて拝んでいるうちは、どうにも変わりやしねえ。こうすつから見えて下せえと神仏に誓つて、初めて変わるてえもんだ。人生、そんなもんだぜ。

痺れました。当時、単なるピカレスクとして読んでしまっていた「き

んぴか」ですが、1997年から98年にかけての氏の爆発的開花の「種」と呼べる珠玉の言葉は、しゆぎよく ことだま既に仕込まれていた事を知りました。

奇しくも私の住む日野程久保基地は、浅田次郎氏のご自宅のごくごく近くで御座いまして、程久保、南平とそれぞれ町名は異なりますが、ピタリと隣接するエリアなのであります。氏を心酔し、氏の全著作を読み、その全てを蔵書として保有している私としましては、氏のお膝元に住まわせて頂いているだけで有難き幸せと申せましょう。

私にとって氏の著作は、まさしく人生の指南書そのものです。

浅田先生、見ていらつしやいますか。最新刊の「終わらざる夏」、初版で購入して敢えてお盆休みまで封印し、八月十五日の終戦の日に読了するように調節しながら大切に大切に読ませて頂きましたよ。

「スニーキング」の意味と「スニーク」の意味

【004】「ナニ製ゲームソフト「メタルギア・ソリッド」より

メタルギアソリッドというゲームをご存じでしょうか。コナミがプロ

デュースする、いわゆるスニーキング・アクションに分類されるゲームです。プレー画面だけを見ると単なるシューティングに見えなくもありませんが、ちよつとでも派手な動きをして敵に発見されると無線で連絡を取られ、あつと云う間に囲まれてゲームオーバーになってしまいます。

「スニーキング」を辞書で引いてみましょう。

sneaking…【形容詞】こそこそしている・卑怯な

「He is sneaky!」は、「彼は卑怯である」という表現ですから、スニ

ーキングという言葉は、一般的にはネガティブな意味で使われる事がほとんどだと思えます。

スニーキング・アクションであるメタルギアソリッドは、その名の通り、敵に発見されないように、「こそこそしながら」ミッションをクリアしていくゲームです。ゲームカテゴリとしては非常に斬新です。今までのアクションゲームといえば、不必要なまでに派手にドンパチ撃ちまくって、壮快な気分を味わうというモノが主流でした。しかしこれは、ゲームだからこそその感覚と云えます。実践ではたった一発食らっただけで死に至るか、そうでなくても相当の被害を被るのは確実ですから、自分の生命が掛るとなれば、*sneaky* に行動する事は自然な事です。シュワルツネガーやスタローンのアクションは、映画の中だけの行動なのです。そういう意味でスニーキングという考え方は、実際の戦闘により近

くて、リアルな感覚なのでしょね。

メタルギアソリッドというゲームが名作として多くのファンを集めているのには、通常のシューティングゲームが反射神経に依存する割合が高いのに対し、反射神経のみならず、更に高度な戦略性を要求される点によるところが大きいと思われます。何の変哲もないアイテムを、隠れ蓑みのとして使ったり、また逆に敵の意識をそれに引きつけて裏をかいたりといった、戦略行動の多様性や、その為の観察力や洞察力が重要視される点が、実戦に必要とされる能力とかなり近い事も、迫真性を増す事に寄与しています。グラフィックの忠実性だけでなく、戦略性のリアリティをも向上させる事で、メタルギアソリッドは単なるゲームという枠を越え、戦闘シミュレータと呼ぶべきクオリティを得ているのです。

私は昭和四十年生まれですから、平安京エイリアンやインベーターゲ

ーム、パックマンからを経験してきた、いわばゲーム黎明期れいめいを知る世代です。そういう意味ではゲームの進化とともに育ったと云っても過言ではありません。そういう我々の目から見ても、昨今のゲームの異常とも云えるクオリティの高さと、このレベルに至るまでのここ数年の進化のスピードには、驚くべきものを感じます。

言葉を信じるな。言葉の持つ意味を信じろ。

メタルギアソリッドの中での台詞です。深いではありませんか。私は普段、全くゲームをしないのですが、今の若い世代の人たちがハマりこんでいく理由がちよつと分かるような気がします。ゲームの中に現実の戦闘を見、実際のモノに近い様々な戦略を投入する事すら可能な時代になったのであります。

情報化社会と呼ばれて久しい現在、我々の周りには様々な言葉が氾濫しています。言葉はメッセージであるとともに、コマンドでもあります。

会話はもとより、テレビから流れ出る、こうした「言葉」全てをくまなく聞こうとすれば、発狂してしまいかねません。実は我々は自らの正気を保つ為に、一日の大半を「聞き流す」事で生活しているとも云えるのです。

言葉を信じるな。言葉の持つ意味を信じろ。

言葉の持つ本当の意味を掴もうとすれば、そこには大いなる集中が必要とされます。メタルギアの台詞は、「集中せよ。聞き流すな。」という意味なのかも知れません。

今年のお盆に、高校野球中継をNHKラジオで聴きながら、車で中央

高速を走るといふ経験を得ました。普段、野球と云えばテレビで観戦する事しかないので、こうしてたまにラジオで聴いてみますと、改めてアナウンスの細かさに舌を巻きます。

ピッチャーは二年生の○○選手。甲子園では初めての先発起用。五回までに既に七十八球を投げて多少疲れた表情を見せています。同じ中学校出身で互いにエースの座を争うライバルであったシヨートの△△選手が駆け寄って声を掛けます。笑顔が少し見えましたマウンド上の○○選手。セツトポジションに入ります。キャッチャーのサインに首を振る。今サインが決まりました。五回の裏ツーアウト、ランナー二塁。対するバッターは□□高校四番の☆☆選手。本日はこれまで二打数ノーヒット。地方大会における通算打率は四割五分を超えています。ここ甲子園では未だヒットが有りません。しかし一発が有るバッターです。カウント

はツーストライクワンボール。セカンドランナー、リードが多少大きいか。セカンドがベースカバーに入ります。ピッチャー、セカンドランナーをちらりと見て、第四球を・・・投げましたボール！ ツーストライクツーボール。フォーボールで外角低めに落としてきましたが、☆☆選手これをよく見ました。クリーム色に赤いラインのユニフォーム、□□高校五回裏の攻撃、一点差を追う形です。ここは何としてもタイムリーが欲しい。一打同点のチャンス。さあここは四番の意地を見せたいところ。

ピッチャーがたった一球投げる間に、アナウンサーは一気にこれだけ喋るのです。映像が無い分、全てを言葉で伝えようとするところなってしまうのでしよう。テレビのナイターはビール片手にダラダラ見ているも何となく状況を把握し楽しめます。目からインプットされる情報は思

った以上に大容量で、しかも意外に楽にそれらを認識する事が可能です。対してラジオの場合、同様の情報量をアクセプトしようとすれば、もの凄いい集中力を強いられます。集中し続けていないと戦況が分からなくなってしまうのです。この日の中央高速はお盆で渋滞していたのですが、渋滞より何より野球中継に集中し過ぎて、ぐったり疲れてしまいました。

言葉の意味を掴む為には大いなる集中が必要。その事を伝えようとするあらゆる意味でリアルな最近のゲームは、哲学的真理をも提示する高度な表現力を有するメディアなのであります。

喜ぶというのもしつの習慣じゃないでしようか

それに習熟することが必要な気がするのです

【005】五木寛之「生きるヒント」より

最近、ちよつと変な人が増えてきたと思っっているのは私だけではありません。感情の起伏が、著しく乏しい人たち。いやもしかしたら、感情は持っていて、しかしそれを他人に伝える事が苦手なだけかも知れませんが、他人から見れば結局は同じ事。感情を喜怒哀楽の四つに分けるとすれば、他人に対して積極的に表すのは「怒」の感情のみ。彼らには特に「喜」の表情に欠け、嬉しい時に上手く喜ぶ事が出来ないという特徴が見られます。

我々は普段、多くの「目」を意識して生活しています。ここでいう「目」

とは必ずしも卑屈な意味のものだけではなくて、コミュニケーションする対象全般の事を指していると考えて下さい。我々はひとりぼっちで生きていく訳ではないのです。

例えば電車を降りようとした際に、乗り込んでこようとした人と鉢合わせ状態になってしまった場面を想像してみてください。すつと横にずれて相手を先に通した際、その人がにこつと笑ってくれただけで、どれほど心が和むでしょうか。特に知っている者同士でもないし、すれ違えばすぐに忘れてしまうであろう相手ではありませんが、こうした相手の「目」も自然に意識しているからこそ、笑顔という形のコミュニケーションが取れるのだと思います。

電車の中で化粧をしている女性が増えました。これらの方々は「目」を意識せず、ひとりぼっちで生きているのでしよう。人前で化粧をする

のは恥ずかしい事。しかし「目」を意識しない以上、誰も居ないのと同じです。彼女たちにとって電車の中は人前ではないのでしよう。

こうした傾向は、近年どんどん強くなっているように思います。コンビニに入ると「いらっしやいませ。〇〇によろこそ」と店員に声を掛けられますが、多くの方はまるでその店員が存在していないかのように振舞います。こういう場合、大げさなりアクションは無論不要としても、会釈くらいは返すべきでしょう。この会釈を返すという古くから我が国に存在した美德は、急速に失われつつあります。

喜ぶ、というのも一つの習慣じゃないでしょうか。それに習熟するところが必要な気がするのです。

これは五木寛之著「生きるヒント」の中の言葉です。喜びの表現はそ

れを誰かに伝えてこそ意味を持ちます。コンビニでの店員を無視する行為
為しかり、きちんとしたコミュニケーションが習慣づいていないと、喜びを
表現する事さえ出来ない人間が出来上がってしまうような気がします。

喜ぶという行為が習慣になっていない。だからどう喜んでいいか、ど
う喜びを伝えていいのか分からない人たち。悪気無くや^{わる}っている行為と
は云え、あまり気持ち良いものではありません。はつきり言ってみつと
もない。喜びを表現する事以外にも、きちんと挨拶する事や、人の目を
見て話をする事とも全て共通していると思うのです。

こうした習慣は、本来子供の頃から形成されるべきモノで、故に大人
になってから習熟するのは極めて難しいでしょう。自転車に乗れるよう
になる事と似ています。子供の頃であれば、習得するのは誰にでも出来
ます。ですから一見、大人が乗れるようになるなんて、より簡単な筈の

ように思えます。ところが実際には、「転んで骨折でもしたら大変だ」とか「小刻みにハンドルを切る事で車体を安定させるべき」とか「ある程度スピードが乗らないとジャイロ効果が得られない」等の余分な知識が、素直で正常な習得を阻害してしまいます。全ての物事には学ぶべき最良の時期があると思うのです。この時期を逸する事で、習得の可能性は著しく低下してしまいます。

こういった、人間として知っておかねばならない事、出来て当然の事は、学習とは呼びません。しつけと言うのであります。漢字で書けば「躾」。身偏に美しいとは、上手い表現です。おっさん臭いと云われようが何しようが、最近、この躾しつけがなつてないヤツの事が許せないものでありました。

人間というのはいかにも辛そうにしている時より

見た目には明るく振る舞っている時のほうが

その内側にある悲しみは深いというがらねえ

【006】東野圭吾「ダイニング・アイ」より

初 めてのメンバと自転車でツーリングに出ている時、かなり疲れてきていても、「疲れたから休もうよ」と言い出せない時があります。勝手知ったる仲間内ならばそんなに気を使う事もないのですが、初対面の方に対してはそうもいかない事もあります。格好をつけるということともちよつと違います。こうしたツーリングには適切なペースというものが歴然とあり、それを崩すまい、迷惑を掛けまいとする故に、この様な行動をとってしまう事になるのです。

本来すがりたい筈の時に逆に虚勢を張るといふ行動は、ただでさえ疲れているにも関わらず、更に無駄に体力を消費してしまう事に繋がります。周りの人は、この人は体力に余裕があるのだなと認識し、しかし実際には無情にも、逆にみるみる残りの体力は減っていく。この両者の状況の乖離かいりは、やがて急速で級数的な崩壊に繋がる事になってしまいます。

疲れた時に「疲れたよ。休もうよ。」と云っていれば、体力や技量の差も自然に認識して貰え、次の休憩はもつと早いタイミングで取られる事になるでしょう。正直に云えば自然な気遣いをして貰えます。逆に迷惑を掛けまい心配を掛けまいと考えた故に、結果としてより大きな迷惑や心配を掛けてしまうという矛盾。みんな理解しているのです。でも頑張り過ぎてしまう。こうした行動は、人が人を気遣おうとする以上、絶対に無くならないものの一つであるのかも知れません。

人間というのは、いかにも辛そうにしている時より、見た目には明るく振る舞っている時のほうが、その内側にある悲しみは深いというからねえ。

東野圭吾著「ダイニング・アイ」の中の言葉です。こうした状況を打破する為には、強者の側から先に気遣う行動を取る事が絶対に必要です。追い込まれている側は虚勢を張ってでもそれを悟られないように振る舞いますから、余裕のある側が先回りして休憩を提案するしか解決策はありません。しかしその気遣いすら、「大丈夫ですからお気遣い無く」という、虚勢に由来する行動により、否定されてしまう可能性を孕はらんでいるのです。笑顔で、大丈夫と言われれば、実際のところ、本当に大丈夫なのかそれともそれが虚勢なのかを見分ける事は非常に困難でしょう。それもその筈。そもそも当事者はバレないように笑顔を作っている訳で

すから。こういう状況においてはあまり深読みせず、相手の言葉通りに捉えて行動するのが大人の嗜たしなみと云えるかも知れません。勿論、あらゆる可能性は想定し続けるといふ前提でネ。

それにしてもセンチティブな問題です。自転車に限らず、仕事の事、お金の事、何にでも共通する問題でしょう。鬱病が級数的に進行するのも同じロジックによるのかも知れません。どこまで気を遣うべきか、全てはバランス感覚。ホンネだけでしゃべればギクシヤクします。しかし気遣いも、過ぎたるは及ばざるが如し。話すにしろ聞くにしろ、人と人がコミュニケーションするのつて本当に難しいですね。

彼らをお救し下さい

彼らは何をしているのか

分からずにいるのです

【007】新約聖書「ルカ福音書23・34」より

休

日の朝、国道二十号、通称甲州街道にはたくさんの方々が繰り出しています。個人で走る方、三、四人の小集団で出掛ける方、中には三十台以上の大集団も存在します。最近では雑誌等での啓蒙活動も進み、皆さん、概ね^{おおむ}ジェントルに走っていらつしやいます。少なくともロードバイクの右側通行は激減しました。ま、道交法上、当然の事ではありませんけどね。

しかしまだまだ街中には無法な運転をする自転車が溢^{あふ}れています。一

部のママチャリです。彼らに車両を運転しているという自覚はなく、左側右側関係なく進路を取り、歩道の歩行者を邪魔者扱いするなんて日常茶飯事。でもある意味仕方がないかも知れませんね。警察の白チャリ自身が平気で並進や右側通行しているんですから。そもそも「車両は道路の左側を走行する」というのは道路交通法の大前提でありまして、自転車の歩道通行可というのは、本来緊急避難的な例外措置に過ぎなかった筈なのです。こういう事はきちんとお巡りさんから率先して実行して貰わないとね。

ま、速度の遅いママチャリは何とかなくても、ロードバイクの場合は冗談では済みません。楽々時速三十キロで巡航する事が出来るこの乗り物は、ちよつとした操作ミスで簡単に交通事故の加害者になってしまいます。ポテンシャルが高い故に、車両運転者としての認識が必須という

訳です。

国道二十号大垂水峠を越えて西の方に進んで参りますと、青と黄色のおわたるみ ジャージの方々とすれ違う事が結構御座います。イーランと呼ばれる走行会でひなつる 雛鶴峠にお出掛けになっていた、な○しまフ○ンドの皆様であります。な○しまフ○ンドは地元では有名な自転車ショップで、特に雪のない季節は、中央道相模湖インター入り口から橋を渡り、有名な喫茶店 s h u のある日連ひづれを経由して、雛鶴トンネル手前の饅頭屋まで出掛ける事が多いようなのであります。

日野から西方面にツーリングに出るとなりますと、大垂水峠を越えなければなりません。すると時間帯によつては、この、な○しまフ○ンドの方々と遭遇する事になります。

どういふ決まりで走っているのか分かりませんが、この集団、午後ともなりますとバラバラにバラケている事が多く、特にこのバラケている時のマナーの悪さといったら、筆舌に尽くし難い程なのであります。時速四十キロ程度で走行している自動車の後方一メートル位についてスリップストリームを使うは、渋滞している車の列を中央に出て右側から抜かすは、交差点を二段階右折しないは、そもそも赤信号を守らないはで、これはもう、滅茶苦茶と云っても過言では無い位なのであります。我が物顔と申しましょうか、道路上の迷惑以外の何者でもありません。自転車に乗る我々から見てもそうですから、自転車に乗らない方から見れば単なる暴走族でしょう。彼らのお陰でローデイ全体の地位がおとし貶められてしまうのではたまったものではありません。集団走行時はまともなんですけどね。一旦バラバラになると何故こんなふうになつてしまうのでありましょうか。

彼らをお赦し下さい。彼らは何をしているのか、分からずにいるので
す。

新約聖書「ルカ福音書23・34」のお言葉です。な○しまフ○ンド
は自転車を売ったりお客を集めたりするだけに注力傾倒し、初心者に対
するきちんとした教育や啓蒙活動を行なっていないのでしょうか。彼らの
中ではイーランで早く走る事だけが正義となってしまうています。彼ら
は知らないだけなのです。きちんと教えない、な○しまフ○ンドがいけ
ないのです。

かつて一度だけ彼らの無法を注意した事があります。赤信号で停止し
ている私を抜いて、無理に直進しようとしたのでありました。国道二十
号大垂水峠から東京方面に向けて下って参りますと、右手にファミリー
マートがある先に信号が御座います。この高尾山入口の赤信号を無視し

て進もうとしたのであります。確かにここは丁字路で、横から車が出て来る事はあまりありません。左の側道はおみやげ物屋街に繋がっているだけですからね。しかしここには横断歩道があり、しかも休日の高尾山でありますから、かなりの歩行者が渡るのです。案の定、な○しまフ○ンドジャージのおじさんは歩行者の方と接触しそうになりました。「おい、信号赤だぞ」と声を掛けましたところ「俺だけじゃない。この位みんなやってる事だ」と云うではありませんか。歳の頃五十代半ばといったところでしょうか。「何だよ俺が何か悪い事したって言うのか?!」何と!云うに事欠いて逆ギレです。チョット待てよ。赤信号無視して歩行者と接触しかけたのは、百パーセントお前さんが悪いんだよ。周りの歩行者の方から「馬鹿じゃねえのこいつ」という声が漏れていました。恥ずかしいお話です。若い人ならいざ知らず、この位の年齢の馬鹿となりますと、矯正は不能でしようなあ。こりや死ななきや治らないゝって

ね。

な○しまフ○ンドの中にもジェントルな方はいらつしやると思えますよ。ただしね、たった一人でも馬鹿が居れば、その集団全体が馬鹿に見られるのは当たり前的事。それがチームジャージを着ている責任、着る事を許している責任つてもんであります。

ところでな○しまフ○ンドのロゴをよゝく見た事がありますか？そう
です。スペルが変なのです。NARUSHIMAではなくNALSIMAなのはデザイン
上の問題かな、それとも固有名詞に対するポリシーがあるのかなと百歩
譲るとして、FRIENDではなくFRIENDとなっているのはどういう具合なん
でしょうか。きっと「昔の伝統を守り以前からの表記を大切にしていま
す」とでも言い訳するのでしょうか、創業者の鳴嶋会長のミスを、
誰も指摘出来ずに現在に至るといのが真相なのではないでしょうか。

この非を認めない姿勢と云いますか、スペルミスを取らずかしげもなく直そうとしないところと云いますか、かなり馬鹿つぼいのでありますよ。あ、な○しまフ○ンドのジャージを着ている方々の悪口を言っているのではありませんよ。断じて彼らは悪くありません。ですから彼らをお赦し下さい。彼らは何をしているのか、分からずにいるだけなのです。でもかなり恥ずかしいけどねエ。

少しでもやりたいことがあふあふ

やってみればいいじゃないの

やりたいことがまったく見つからない人は

沢山いるんだから

【008】村上由佳「天使の梯子」より

私

は現在四十五歳でありまして、既に四十五年も生きてきたとも言えますし、まだ四十五年しか生きていないとも言える訳であります。自分で言うのもなんですが、実は非常に微妙な年頃なのでありますよ。

お若い方から見れば、押しも押されぬ明らかなオサーンである事は間違いないと思います。ま、それなりの社会経験も積み、それなりのポジション

ヨンも得ておりますしね。ですから今更、「実は子供の心を失っていない」とか、「心は二十歳」、などと申し上げましても、全く信じて貰えない訳であります。ところが諸先輩がたから見れば、まだまだ危なっかしい若造だったりするのであります。「お若いうちに好きな事やっておきなさいよ」なんてご指導を受ける事もしばしば。若くもない、でも枯れてもいない。ね？微妙なお年頃でしょ？

少しでもやりたいことがあるならやってみればいいじゃないの。やりたいことがまったく見つからない人は沢山いるんだから。

村山由佳著「天使の梯子^{はしご}」の中のお言葉です。人生って意外に短いかも知れないと気が付いたのはごくごく最近の話でありまして、この事に気付く事自体が、もう若くなくなつたという事なのだと、痛切に感じる訳であります。だからこそ様々な事を、今、やってみたいのです。

例えば現在、休みの度たびに、晴れてさえいれば楽しく自転車で出掛けて
おりますが、これだつていつまで実行可能なかと問われれば、かな
り不明確な事なのであります。現在のポリウム、すなわち120キロ
、160キロを日帰りで楽しくサイクリング出来るレベルは、いつた
い何歳まで維持出来るのでありましようや。五年に一回新しい自転車に乗
り換えるとして、私は死ぬまでにどれ程の自転車に出会えるのでありま
しようや。

自転車だけではありません。やりたい事は常に複数発生し、それらを
並列に、同時進行で進めていこうとしている状態であります。まさにや
りたい事だらけ。例えば現在、メインマシンを新規導入し、ウインドウ
ズ7に移行しようとしています。デル製のインテル・コアi7 CPU搭
載の新型。メモリは16ギガバイト、HDDは1テラバイト（物理容量

3テラバイト)です。まさに個人で使用するには十分な化け物。かなりの高速化が期待出来ましょう。

ところが良い事ばかりではないのです。現メインマシンはウィンドウズXPですから、これをウィンドウズ7にする事で使えなくなってしまうアプリケーションがいくつも存在するのです。私は自営業者となった今でもソフトウェアの開発を行っており、いくつもの著作権を所有しています。現時点で販売中のソフトウェアも存在するのです。毎月著作権収入も得ています。普通の方のパソコンと違い、私の場合は開発環境も移行しなければなりませんから、OSの互換性は大きな問題となり得ます。一部は新しい開発環境を導入し、一部は旧システムを騙し騙し使い続ける。ウィンドウズ7ではCOMオブジェクトやクラスIDの取り扱いが一部変更になりましたし、仮想ドライブや仮装フォルダが徹底さ

れました。こうした移行作業には相当な調査が必要なのであります。日本語版のホワイトペーパーが少ない状態ですので、ほとんどの場合英文の文献を読んで行かねばなりません。これって、その辺の専門学校に通う学生の、数倍の学習量に相当するのですよ。結局好きだから学習を維持出来るのでしょあ。それにしても時間が足りなゝい。

少しでもやりたいことがあるならやってみればいいじゃないの。やりたいことがまったく見つからない人は沢山いるんだから。

この言葉に接した時、ちよつとした衝撃を覚えました。やりたい事が全くない人なんて、本当に居るのだろうか。私には決定的に時間が足りません。やりたい事ばかり。早くやらないと人生終わっちゃう。今は、やりたい事の優先順位をつける事で精一杯な状態です。自転車に乗って、英語の文献読み漁って、PCの環境を整えて、オートバイの改造をして、

小説を読んで、DVDを観て、かみさんとお出掛けして、Y a s Z o n eの原稿を書きまくる。勿論、仕事も目一杯。故に楽しい休日は、やりたい事びつしりなのであります。

ま、これも健康で居られるからこそ。やりたい事がいっぱいあるという幸せを噛みしめつつ、休日は、文字通り遊びに邁進まいしんする私でありました。

いいが 過去や評判が走るんじゃない

いまのまみ自身が走るんだ

惑わされるな 振り向くな もっと強くなれ

【009】三浦しをん「風が強く吹いてくる」より

自転車という乗り物は本当に正直であります。いや、自転車が正直と

云うより、心肺機能は正直と云った方が、より正確かも知れません。

初めて鬼の和田峠に行った時、ここを足付き無しで自転車で登るなんて何年掛かろうが自分には無理だ、と思いました。途中から自転車を降りて押し歩きしながら、何とか頂上のお婆はばの茶屋には到着しましたが、

二度とここには来るもんかと心に誓った事を記憶しています。ほぼ半泣はん泣なき状態でした。翌日は全身筋肉痛。足だけでなく、背中や肩や首などに

も相当な力が入っていたものと思われます。勿論、今に比べれば自転車に乗り始めたばかりですからペダリングスキルも滅茶苦茶でしたし、そもそも決定的な運動不足で体は鈍りきっている状態でありましたから、当然といえれば当然だった訳ですが。

しばらくして、再び鬼の和田峠にチャレンジする機会が巡ってきました。平地メインとは云えそれなりに自転車に乗るようになっておりましたし、自分がどれ程成長したかを見てみたいという気持ちも正直ありました。途中、何回か心が折れそうになりました。ジャイロ効果発生限界近くの時速四キロまで速度が落ちる事もしばしばでした。しかし二回目の和田峠は何とか足付き無しで登頂する事に成功したのであります。やれば出来る。この登頂成功は、私に大いなる自信を与えてくれました。

それから何度か和田峠に登るうちに、今度は登坂タイムが気になって

参りました。和田峠の場合、陣馬高原下バス停の廃屋の柱をスタート地点に、頂上のお婆の茶屋の向かいの石碑までの所要時間を競うのが一般的と言われていました。いかにこのタイムを削るか。その為にはどのラインを通り、どこでスパートを掛けるべきか。いつしか私は、こうしたT（タイム・トライアル）としての和田峠登坂に傾倒していったのであります。車で現地入りし、ホイールを変えて二回連続登坂、などという実験的な試みまで行なったのであります。

ついに新記録が出ました。勿論、私自身としての記録です。早い方はたくさんいらつしやって、私の記録など取るに足らないものである事は承知しております。でも自分なりに目標として設定した、和田峠二十分というハードルをクリア出来たのであります。やったー！俺って凄いじゃん！この時は嬉しくて嬉しくて、天にも昇るような気持ちでした。

二十分の記録を打ち立ててしばらくしますと、和田峠に初雪が降りました。都下とは云え山岳地帯でありますから、下界に比べれば気温もかなり低く、路面も濡れてコンディションが悪くなります。こうして和田峠のシーズンは終わり、春までは平地メインのサイクリングに切り替える事になりました。

春になって、そろそろ山の雪も消えた頃、その年初めての和田峠にいてみる事にしました。和田峠は二十分で登れる。何の疑いも無くそう思っていました。半年のブランクがありました。自分の中での標準値は和田峠二十分だったのであります。

惨敗でした。たった半年のブランクでこんなに心肺機能が落ちるとは想像出来ませんでした。最初のきつい左へアピンに達する前に、既に体は悲鳴をあげていました。流石に足付きは無かったものの、タイムは二

十五分近く。泣きそうです。こんな筈じゃなかったのに。しかも藤野側に下りきった後、藤野駅に続くトンネルへのちよつとした登りで足が攣ってしまう始末。どうなってるんだコレ。あまりの腑甲斐無さに、自己嫌悪にすら陥りました。

いいか、過去や評判が走るんじゃない。いまのきみ自身が走るんだ。惑わされるな。振り向くな。もつと強くなれ。

三浦しをん著「風が強く吹いている」の中のお言葉です。箱根駅伝を舞台にした青春ストーリー。同名で映画化もされました。そうです。勝負はその瞬間ごとの戦いなのです。過去の実績なんて、その日の勝負には何の役にも立たないのであります。

仕事において、経験の有無が重視される事があります。その「経験」

が現在進行中のモノか、それとも過去の栄光や思い出に分類されるモノかを判断する事無しに盲信してしまう行為は、その「経験」がより重要な仕事やデシジョンであればある程、ある種の危険が付きまといまいます。

誰も嘘をついていないし誰も虚勢を張っていない。しかしこうした盲信は簡単に発生します。経験を過去のモノにしないように継続に努める事。常に自分の状態を客観的に観察し現状を把握する事。相当難しい事ですが、こうした生き方は私の理想でもあります。

とは云えかなり「夢」に近い理想ではありませんがね。だって私が知る限りこの二つの戒律を守り通せているのは、通称ゴルゴ・サーティーンと呼ばれる、デューク東郷氏だけしか居ないのでありますよ。彼は、漫画家さいとうたかを氏の作品の作中人物でありまして、勿論、実在している訳ではありません。ただ私は虚構とは云え、デューク東郷氏の生き

方に憧れているのでありました。え？コミックス？ええええ、リイド社のゴルゴ・サートインシリーズは全巻所有しておりますよ。今でも時々読み直したりしております。私にとってゴルゴ・サートインシリーズは一種のバイブルなのでありました。

まやがしの希望は 絶望よりも邪悪である

【010】宮部みゆき「模倣犯」より

ある峠に自転車でチャレンジする場合、初めての時よりも二度目以降の方が楽に感じる事つてありませんか。極端な話、初めての時は堪らず足を着いてしまった峠でも、二回目のチャレンジの機会には何故か足付き無しで登れた、なんて事すら私の場合はあります。勿論、TT（タイムトライアル）をしたりといった特殊な事は無しという前提においてのお話ですよ。

初回の時よりも体力的に強くなったのかも、とも考えてしまいますが、実は体調やスキルといった物理的な原因よりも、精神的な側面の方が大きいのではないかと思うのです。

私がかつて高校の柔道部に属していた時、鍛錬の一環として、よく先輩からグラウンドをランニングするように命ぜられました。不思議なもので、「グラウンド十周！」と言われても「グラウンド三十周！」と言われてもそれなりに走れてしまうものであります。残りの周回数を考え、無意識のうちに力を調節してしまうのであります。十周と三十周では、単純に労力は三倍なのにも関わらず、意外にも同じように走れてしまうものなのです。ところが「俺が良いと言うまでグラウンドを走れ！」と命ぜられた途端に、十周も走らない内にバタバタと倒れていくという不思議な現象が起こります。三十周と命ぜられて走り切れてしまう能力があるのにも関わらず十周ももたないのであります。終わりの目算が立たない状況では、簡単に心が折れてしまうのであります。つくづく、人間は精神の動物であります。

初めてよりも二回目以降の峠の方が楽に登れる感じがするのは、まさしく、この様なロジックによるものであると思うのです。という事は、サイクルイベントやレースへの参加に当たったの事前試走は非常に大きな意味を持つ事になります。自転車での実走がベストでありましょうが、例えばオートバイでそのルートを走っておくだけでも一定の効果は期待出来ましょう。またレース当日に、GPSで地図を表示しながら走行し、常にチェックポイントまでの位置関係を明確にし続ける事も、精神的には非常に楽になりそうです。

さて、ちよつと前置きが長くなってしまいましたが、今回はこうした事前の情報が無いという前提でのお話をさせて頂きましょう。初めての峠に出掛けてかなり苦しくなってきた状況を想像してみてください。もう少しだけ頑張ってみようかな。それとも休んじやおうかな。誰も見てい

ないしね。悪魔が囁く瞬間です。あのカーブを曲がれば頂上かも知れない。いやいや、まだまだ登りは続きそうな気がする。出来る事なら足付き無しの登頂を実現したい。しかしかなり疲れたしそろそろ限界が近い。そんな時、前方から下ってきたロードバイクに声を掛けられる事が結構あります。

「頑張ってる。もうすぐ頂上ですよー!!」

私自身、何度、このような暖かいお言葉を掛けて頂いた事でしょう。有り難い事で御座います。ところがこの暖かいお言葉にこそ、危険な罠が潜んでいるのでありますよ。

自転車は人間が動力で、登りは文字通り喘ぎながら登っていく事になります。私なんかの場合、下手すりや時速一桁キロメートル台。のろの

ろヨタヨタ。それに対して下りはあつという間です。路面のコンディションさえ良ければ時速六十キロ台に達する事もあります。登りと下りではスピードもテンションも距離感も大きく異なるのであります。

「もうすぐ」。ヨタヨタと這うように登坂している者にとりまして、まさしく希望の言葉であります。しかしちよつと待つて下さい。「もうすぐ」という解釈は非常に主観的な基盤の上でのみ成り立ち得る副詞である事を忘れてはなりません。「下っている者にとつてはもうすぐ」なだけなのです。この言葉につられて限界まで追い込まれ、それでも頂上が見えてこない時、なまじ一度半端な希望を抱いてしまった故に、その失望は倍化される事になります。

まやかしの希望は、絶望よりも邪悪である

宮部みゆき著「模倣犯」の中のお言葉です。声を掛けて下さった方に悪気などありません。いやそれどころか、この「もうすぐですよ」という発言は、善意に基づいた励ましの言葉であつた筈なのです。しかし結果としてこれほど罪な発言もありません。悪意によらぬ「結果としての嘘」は、悪意による行動よりも、時として罪深い結果に帰結する事にもなり得るのです。

まやかしの希望は、絶望よりも邪悪である

峠の頂上で、私は自転車の距離計をリセットします。頂上からの距離を画面に表示させる事で、下りですれ違う自転車に対して「あと750メートルですよ！頑張つて！」と客観的な事実を伝える為であります。主観による発言は相手にまやかしの希望を与えてしまうかも知れませんが、いやあ、励ますのも励まされるのも、難しいもんでありますな

あ。

その人のために犠牲になる人は その人から抱えられる

【011】加藤諦三「愛されなかった時どう生きるか」より

好

きな人と結ばれたい。これは誰しにも共通する願望の一つでありましょう。中には、遠くから見ているだけで十分だとか、君が幸せになるのなら僕は喜んで身を引くよ、なんて恋も有るのでしようが、一般的には、好きな人と結ばれたいという気持ちは普遍のモノであります。

一番理想的なのは相思相愛という形。ところがこれが中々長続きしないんだなあ。あ、言つときますけどね、本日の話題は非常に個々人の考へへの依存が高い問題ですので、あくまでも私の意見という事で理解して下さいね。決して他人様に考えを押し付けようって意図じゃ無いですからね。

最初のうちは相思相愛だった二人も、時間が経過するにつれて変化が生まれってきます。そうですね人間の適応力の高さは我々の常識を越えていて、愛される事にすら慣れてくるのであります。愛の定義を明確にするのは難題ではありますが、自己犠牲を強いられたとしても相手に奉仕する事の方が喜びを感じられる状態にいる関係を「愛してる」と称して差し支えないでしょう。例えば、自分の欲しいモノを我慢しても相手にプレゼントをあげる事が、自分にとっての喜びである、というのがこれに当たります。

お互いがお互いの事を優先出来ているうちは良いのですが、何らかのきっかけでこの均衡が崩れると、一見主従関係の様な順列が出来てしまう事に繋がります。サービスを提供する側と享受する側の誕生です。不思議なものでこうした関係は、一旦出来上がってしまうと収束の方向に

向かう確率はあまり高くなく、より昂進していく傾向が強いようです。

愛する人と結婚する方が幸せか、それとも自分を愛してくれる人と結婚する方が幸せかという命題は、昔から常に議論され続けてきました。こういう話題が挙がる事自体、関係が不均衡である事の一般性を物語っているような気がします。

その人のために犠牲になる人は、その人から捨てられる。

加藤諦三著「愛されなかった時どう生きるか」の中のお言葉です。ちよつとドキつとする言葉ではありませんか。相手に良かれと思つての行動や、無償の献身自体が自分の喜びのとなつている場合、それが犠牲と称されるレベルにまで達すると、結局は自分の相手への気持ちは伝わらなくなつてしまふと云う事でありましよう。献身はある範囲内に留まつ

ているからこそ、自分へのフィードバックを期待出来るのであります。

相手が喜ぶ顔が見たい。我々は（少なくとも私は）そう思ってプレゼントを選ぶ訳ですが、本当はそうではなくて、きつと、「自分に向かつて」喜んでくれている顔が見たいのであります。人間は突き詰めれば皆エゴイストであり、最終的には自己愛に帰結するのではないかというのが私の意見です。勿論、程度の問題もありますし、そもそも全てそれだけで語れる程簡単ではない事は、分かった上で話しているんですが。

仕事を終えて家に帰ると当たり前のように食事が拵こしらえてある。本来、感謝に値するような、とても有り難い事であります。ところがこうした献身にすら慣れてしまうのが、人間なのであります。サービスを提供する側と享受する側の誕生は、こうしたところをきつかけとして始まるのであります。

いけないのは不均衡の昂進であつて、献身そのものが悪い訳では決してありません。少しでも不均衡の昂進が起きないようにする事が、捨てたり捨てられたりする事の無い、良好な関係を存続させる為の重要な要素なのかも知れません。

出されたものを食べてるばかりではなく、たまには食事の後に、皿でも洗ってみようかなあ。

人生でぶつかる問題に、
どれも正解なんじゃない

とりもえずの答えがあるだけです

【012】養老孟司「バカの壁」より

嗚

呼、あの時こうしておけば……。人生って、後悔ばかりなのであ

ります。いかなるレベルのデジジョンにおいても、後悔という奴は我々に付き纏まとって参ります。ま、私の場合、普通に平々凡々と生きているだ

けでありまして、大した事を決めたり判断したりする訳では無いのですが、そんな程度のデジジョンにおいても、いつでも後悔の連続なのであります。よし、あの時はナイスな判断だった！という事など稀まれの稀まれ。

あん時こうしときや良かったかなあ。クヨクヨばかりで女々しい事、夥おびただ

しいのであります。

どんな決断であろうとも、後になって「こうであれば」とか「ああだつたら」といった「たれば」の話ほど無意味なモノは御座いません。シミュレーションは決断の前にすべきモノであります。こういう、事前に行なうシミュレーションを「検討」と申します。対して後に行なうシミュレーションを「後悔」と呼ぶのであります。分かっちゃいるんですけどねえ。

そりゃね、私だつて事前によく考えてから行動したいですよ。でもね、多くの場合、デジジョンを求められる場面つてのは、時間が無い事が多いのであります。すぐにその場で決めなくちゃ、その話自身が流れちゃう。あたふたしながら考えて、良い判断が出来る訳ないんですが、結局あたふたしちゃうのが常。ちよつと例を挙げてみましょうか。

「もしもし。久しぶり。あのさ、出物のフレームがあるんだけどね。」

△△の赤黒で、サイズは530。ね。ぴったりでしょ。これが発注ミスで一本だけ余ってるって訳。人気のブランドだしすぐに買い手がついやうと思うんだけど、一応あなたに電話してみたの。どする？買うなら取っとくし、買わないんなら別の人に話を回しちゃうけど。定価の六割引だよ。アルテグラで組んでもフレーム定価までいかないよ。超お得だと思っただけだなあ。あ。カードは無しよ。現金でお願いね。買うの？それとも買わないの？」

急に電話貰って、心の準備も出来ていない状況で、あたふたしない方が無理と云うもんでしよう。正解を見つけようとする程、分からなくなってしまう。

「ねねね。どするのさ？他に回しちゃうよ。カーボンモノコックだし、530だったら引つ張りだこだと思うんだ。来年モデルの発表まで、ま

だしばらくあるしさ。このグレードで、一応新品で、この値段はもう無いと思うよ。ね。聞いてる？だからさ、今さ、この電話でさ、決めて欲しいんだってば。お金は明日で良いからさ。あ。カードは駄目よ」

人生でぶつかる問題に、そもそも正解なんてない。とりあえずの答えがあるだけです。

養老孟司著「バカの壁」の中のお言葉です。こういう状況で購入を決意したらきつと後悔するでしょう。しかし、話を見送つても、結局、後悔する事になるのです。そうなんです。いずれにせよクヨクヨ後悔するのです。正解なんて無いんです。だから悩んだつて無駄なんです。

と、ここまで分かっているのにまだ逡巡しゆんじゆんする、優柔不断な私なのでありました。

え？結局この話はどこに落ち着いたかですって？ふふふ。はつきりと断ってやりましたよ。男らしく堂々とね。ええ、言いました。「いらな
いって訳でもないような気もするかも知れない」とね。でもやっぱ、買
つとけば良かったかなあ。結局ウジウジだよ。ま、そんなもんか。

もしも限界がゐるとするならば

それはほんの瞬刻でしょう

【013】テレビ朝日／東映ドラマ「相棒」より

脂

肪燃焼を最も効果的に行なう為には、心拍数を上げ過ぎない事が重要と言われています。AT値以上の高心拍でのいわゆる無酸素運動は、筋肉内のエネルギーだけを消費します。筋肉内に蓄えられるエネルギーはごくごく限られていますから、こうした無酸素運動は短時間しか持続出来ません。短距離走的なエネルギーの使い方がこれに当たります。

AT値以下の心拍数では有酸素運動になります。エネルギー+酸素→二酸化炭素+水、といういわゆる「燃焼」がおこる訳です。ただしここでもエネルギーの供給源の違いを意識する必要があります。AT値以下

とは言え、高い心拍数での運動は血中のグリコーゲンを優先的に燃烧させます。グリコーゲンの血中含有量は限られていますので、この比較的高負荷な運動も、糖分補給無しでは持続出来ないのです。

比較的低めの心拍数における運動においてのみ、エネルギーとして脂肪が燃烧します。ダイエット、すなわち脂肪燃烧の為には、心拍数を上げてはいけません。しかも脂肪の燃烧量は時間に比例しますから、軽い運動の長時間の継続が最も効果的という事になります。運動をすれば瘦せると闇雲やみくもに盲信して、高心拍の運動を短時間行なっても、実際には脂肪はあまり燃烧しないのであります。

そういう観点からも、自転車に乗って出掛けるいわゆるサイクリングは、ダイエットには理想的な運動であると云えましょう。休日にサイクリングに出掛け、八時間自転車を漕いでいたというのは、割と普通の事

であります。例えば日野万願寺基地から甲州街道を西進し、大月から富士吉田経由で山中湖に出て、道志街道経由で戻ってくると丁度160キロ。平均時速20キロでゆったり漕いだとして、この程度で8時間の運動になる訳です。

これがジョギングですと、とても8時間走り続ける事など出来ません。ね？サイクリングは比較的「軽い」運動なのであります。

辛い運動、例えば腕立て伏せなどでは、非常に明確にかつ短時間で限界が訪れます。無理に続けようとしてもペシヤンとつぶれてしまったりしてね。ところがサイクリングのような軽い運動においては、限界に至る過程も徐々に進行するのです。徐々に進行するからこそ、限界について考える時間があります。サイクリングの場合、下りは漕がなくても進む為、運動ではありません。回復であります。限界が来るとすれば登り

坂な訳ですが、それが本当の限界なのかは、はなはだ疑問が残る事がほとんどであります。クヨクヨ考える時間がある事。この事が自転車における「限界」を曖昧にしていくのであります。

ひゃゝ疲れた疲れた。夕焼け小焼けまでは調子良く上がったんだけどな。陣馬高原下バス停まででだいぶ体力消耗しちゃったな。それにしてもだいぶ登ったな。フラフラだよ。心拍175 bpmだ。辛い。辛いよ。この強烈な登りはどこまで続くんだろ。足付いちやおうかな。誰も見てないしな。鬼の和田だもんな。足付いても仕方ないよな。俺、今日、初和田だし。駄目だ。スピードが時速5キロだ。足付きたくない。蛇行するしかないな。サングラス取ろう。曇ってきちゃったよ。え？抜かされたよ。挨拶返したいけど声が出ない。何だあいつのスピードは。速過ぎる。どうなってるんだ。そうだ。きっとあれば電動ロードバイク

だ。そうに違いない。まてよ。電動である筈がないな。ドロップハンドルの電動なんて聞いたこと無いし。そうか。分かった。オリンピック選手だ。彼はオリンピック選手なんだ。オリンピック選手の秘密特訓なんだ。じゃ仕方がないな。オリンピックなんだから速くて当然だ。お。直登坂が終わって、やっとトラバースに入るようだな。ちよつとは楽になるかな。斜度が収まればいいんだけどな。ここまできつかったからな。げげ。何だこの左ヘアピン。おおおおおいおい。登れないよ。こんな坂登れない。ギア落とさなきゃ。あ。ギアが無い。インナーの27Tだよ。既に最軽ギアだ。駄目だ。維持出来ない。右側通行しちやお。左側は斜度がきつくて登れない。何だこのでこぼこの路面。ロードで来る道じゃねえな。ひゅ。トラバースに入ってもこの斜度かよ。時速4キロ。心拍182bpm。限界だ。暑い。脳の中まで暑い。でも頑張ろ。トラバース道だもん。等高線に沿ってる筈だもん。もうすぐ楽になる筈

だもん。長いなこのトラバース道。そろそろ右に折り返してもいいのにな。どこまで続くんだ。林の中だから眺望は利かないし。あゝん。疲れたよう。心臓が飛び出しそうだよ。こりや既にスポーツじゃないな。修行だよ。逆に体に悪いよ。寿命が縮む。足付きたくない。足は付きたくないけど健康の事を考えると足を付くべきかも。だってこのままじゃ死んじやうよ。足付いちやおうかな。死ぬのはイヤだもんね。もつと生きていたいよ。あ。見えた。やっと折り返した。右へアピン。足付かないで良かった。頑張るぞ。比較的さつきよりも楽じゃん。トラバース道だもん。そんなに斜度がある訳無いよな。それにしても眺望ねえなこの道。どこまで続くのか見当もつかん。げげげのげ。またすげゝ左へアピンだ。何だこれ。後輪が滑るぜ。自転車でホイルスピン。こんなの有りか？またまた右側通行で凌しのごう。左側は登れない。ウイリーしちゃう位の斜度だもの。心拍計ピーピーうるさい。時速5キロ。心拍188b

p m。限界だ。ホントに限界だ。トラバース道だつてえのにこの斜度だもの。あ。金網が見える。あそこが折り返しか？あそこまで頑張ろ。あそこまで。そうすれば折り返しだ。あと5メートル。頑張れ俺。あれ？違うよ。折り返しじゃないよ。まだトラバース道は続くよ。ひー。もう限界。あ。あ。もう駄目。でも距離から云うともうすぐだと思っただけどなあ。明るいな。林が切れてる。あ。左側に下界が見える。この道で初めて眺望が開けたよ。写真撮ろう。良い景色だもの。足を付きたいんじゃない。休みたいんじゃない。負けた訳じゃない。写真を撮らなきゃいけないだけさ。あ。あ。もう駄目。ホントに駄目。いいよね。仕方ないよね。写真の為だもの。あ。あ。もう駄目。ホントにもう駄目。

もしも限界があるとするならば、それはあきらめた瞬間でしょう。

刑事ドラマ「相棒」より、水谷豊扮する杉下右京のお言葉です。本当

の限界であれば、その場でひっくり返る筈です。しかしほとんどの場合そうはならず、単に足を付いてしまうだけ。まだ立って居られる余力はあるのです。限界とは体力が尽きる事ではなく、心が折れる事だったのであります。

もしも限界があるとすれば、それはあきらめた瞬間でしょう。

至言であります。生まれ持った能力も重要な要素。でも努力や練習でパフォーマンスをアップさせる事が出来る。その上での限界は、物理的な要素よりも精神的な要素によって決定される。仕事も勉強も和田峠も早漏も、全て同じロジックなのかも知れないなど気付かせてくれた和田峠って、やっぱり「鬼」なので御座いました。

重要なのは意志じゃなくて 意地なんです

【014】高任和夫「仕事の流儀」より

私は一人でサイクリングイベントに参加する事が好きであります。今年に限って云えば、マウント富士エコサイクリングも、グランフオンドハケ岳も一人で参加致しました。サイクリングイベントのスタート会場で、ほとんどの方が仲間の方と談笑されていらつしやるのを見ますと、私のような単身参加は、比較的少数派なのかも知れませんね。

一人でサイクリングに出掛ける最大のメリットは、自分のペースで走る事が出来る点に尽きましよう。私は仲間内での競走を好みません。ところが競いあう事が嫌いかというとなんな事は全くありません。競走自体は好きなのであります。

重要なのは意志じゃなくて、意地なんです。

高任和夫著、仕事の流儀（日経BP社刊）の中のお言葉です。競走つて意地の要素がとても大きく働くと思うんです。一人で走っている場合と複数で競走している場合では、タイムもペース配分も全く異なります。足をとめたい。でも相手に負けたくない。疲れている事を悟られたくない。辛いけど食らいついていこうか。こうした意地によって、競走におけるモチベーションは維持されます。前に出ていこうとする「意志」なんて何の足しにもなりません。意志は単独行動時でのみ意味を持ちます。負けまいとする「意地」こそが、競走におけるペースや駆け引きや勝敗を決めていくのであります。

意地と意地の張り合いが競走であるとするれば、そこにはかなり赤裸々なコミュニケーションというか、やりとりが想定される訳でありまして、

きつとこういうギリギリの争いにおいては、自分の本性と云うモノが前面に出やすいと思うのです。本性を仲間内で晒さらしてしまう勇氣が無くて、それで私は、仲間内での競走を好まないのであります。

勿論、世の中には「競走仲間」または「競争仲間」と称せられる関係は歴然と存在致します。部活動なんかその最たるモノでありましょう。私は高校時代は柔道部に所属しておりましたし、こう云った集団を否定する心算など毛頭ありません。私が申し上げたいのは、こうした競走を前提としたおつき合いではない方々との競走は、極力避けたいと云う事なのであります。つまり、私にとっての自転車仲間は、体育会系部活動的な仲間ではなく、あくまでも緩い「サークル」としての仲間であつて欲しい訳なのです。

旅の恥はかき捨てと申します。相手が知らない方だからこそ、安心して

て、本性をさらけ出した全力の競走が出来ます。そしてこうした一生懸命さは、非常に後味の良い、充実した楽しい行為となり得るのです。こんな訳で、サイクリングイベントへの一人参加は結構オススメなのであります。

自分が不器用だという人の大半は

気が利がないだけなんじゃないかな

【015】湊かなえ「少女」より

うちの子供らを見ますと、高校生と中学生の癖に、ちよつと信じられない位ぶきつちよでありまして、自転車のパンクも直せないのではありません。私が幼少の頃、おそらくは小学校五、六年で、既に普通にパンクの修理や自転車の改造なんかしていた記憶があります。あの頃はそれが普通だったんですよ。

壊れたら父ちゃんに直して貰えば良いや。これがうちの子供らの考えであります。私も子供の頃はそうでありましたけれども、ただ見ているに留まらず、父親が修理しているのを見て自ら修理する事に興味を持ち

だし、見よう見まねで直してみたのが始まりでありました。私の父、つまり彼らの祖父ちゃんじいは、実は不器用なのに、自分は機械に強いと信じている、典型的な昭和の家長でありまして、結局は未だに自転車のパンクの修理はまともに出来ないは、車のタイヤ交換も怪しいは、エンジンが掛からなくなったら静岡トヨペットに電話をするしかないは、パソコンを使う事はおろか、テレビの番組予約も出来ないは、という状態なのであります。現在のうちの子供らの惨状は、もしかしたら祖父ちゃんじいからの隔世遺伝かくせいかも知れせんなあ。

小学校に上がってから実は自分の父が不器用である事に気付き、それを指摘しても状況が好転する訳じゃない事を本能的に感じて、父親の修理をあてにせず、自ら直す道を選択したのでありました。

自分が不器用だという人の大半は、気が利かないだけなんじゃないか

な。

湊かなえ著「少女」（早川書房刊）の中のお言葉です。不器用な人の多くは、段取りが悪いように思います。事前に準備や想定をせず、いきなり物理的な作業に着手する。これでは何ををやっても上手くいく筈がありません。ミスも多いし、時間も掛かる。爺臭い事を言わせて頂ければ、昔から段取りだんど八分と申しましてですね。きちんと段取りを済ませておけば、その時点で全体の作業の八十パーセントは既に完了しているのと同義なのでありますよ。それ程、段取りは大切って話。

今の子供らはプラモデルを作りませんからなあ。あれは段取りを覚えるのに最適な玩具だと思えます。私が小学生の時、男の子が買って貰いたい玩具ナンバーワンでした。そりやもう小遣いの続く限り作り倒しましたよ。戦車とか飛行機とかオートバイとか車とかね。

プラモデルをまともに作った事のない人に限って、「ありや駄目だ。

決められた通りの手順で組み立てるだけだから、独創性が育たない」つ

てな事を宣のたまいます。馬鹿言つてんじゃねえよ。段取りの悪まいりいお前さん

と一緒にしねえでおくれよ。そんな簡単なもんじゃねえんだつてば。

プラモデルというのは、まずは組立図に書き込みをすることでところから始めるべきなのです。プラモデルは精巧に出来ているようで居て、あれで結構、誤差やバリも多いのであります。少なくともそのままでは接合部分がスジ状に残ってしまう。故に接着剤で接合した後、パテ埋めをして、サンドペーパーを掛けた後、塗装しないといけない。単に塗装と云つても簡単ではありません。単体部品で塗っておいて後から接合するか、それとも接合した後、塗装するか。単色ならば最後に一発塗装も有りですが、色を変える場合、マスキングして塗り分けるか、部品単体で塗つて

おくかを考えなければならぬ。理想的にはマスキングです。塗った後接合すると、必ず接合部のスジが残ってしまいますからね。ところがマスキング塗装は手間が掛かるし、形状によってはマスキングが不能な場合があるのです。

こうした複雑な要因を考えあわせて、工程を考えてそれを組立図に書き込んでいく作業が、プラモデルにおける「段取り」な訳です。

しかもプラモデルに使う接着剤や塗料は乾くのに時間が掛かります。瞬間接着剤なんて絶々対に使いません。あれは揮発成分が白く粉を吹いたように周りに蒸着しちゃうのであります。やはりプラセメントと呼ばれる、ふたの裏に刷毛のついたプラモデル専用接着剤を使うべきなのです。この接着剤が乾くのを待つ間、パテ盛りした部分をペーパーで削つて、更にボディ部分の^{サフエーサ}下地塗装までやって今日の作業は完了、つてな具

合にきちんと工程を組んで作業しないと、母親に叱られちゃう。「何時だと思ってるの！もう寝なさい！」こう云われたら寝るしかありません。逆らっていると大切なプラモデルを捨てられてしまうからです。エポキシパテは練った瞬間から硬化が始まります。待った無し。母の恫喝も待った無し。工程を組んで所要時間を読む。今日はどのブロックまで作業を進めるかを策定する。だからこそ、工程管理、すなわち段取りが大切になるのであります。

当時の大人は、「手先が器用な奴がプラモデルを上手く作れる」と思っていました。実は違うんだなあ。段取りが良い奴がプラモデルが上手なんです。美しく早く作る。同じプラモデルとは思えない程。精度も美しさも雲泥うんでいの違い。これって、社会人になってからの仕事の能力にも、大いに関係するんじゃないかなと思うんです。

今の子供たちはこうした貴重な学習機会を捨てて、馬鹿のようにゲームばかりやっています。コンピュータ・プログラムとはマシンに対する段取り指示そのものでありますから、ゲームを購入してそれで遊ぶだけというのは、他人によって段取りされたものをただ使っているだけと云う事と同義です。これでは馬鹿になりこそすれ、いつまでたつても段取り力がつかないのは、むしろ当然と云えましょう。

学校の授業なんかよりも、よっぽど有意義な学習機会が急速に失われつつある今、日本の将来が大いに心配であります。いやマジで。

小さい音ほど 大きく聞こえる

【016】熊谷守一「へたも絵のうち」より

私が自転車で出掛ける時、都市部に向かう事は稀で、多くの場合、小仏峠や和田峠といった、いわゆる山に向かう事がほとんどであります。

別に競技志向で負荷を掛ける為に坂を目指すわけではありません。単純に山の空気が好きなのであります。下界との明らかな温度差。山の木々が醸し出す清冽させいれつ。沢を渡ってくる涼しい風。私は自らの、いわば森林浴的欲求に従って、山を目指すのであります。

オートバイや車とは異なり、自転車に乗っていると様々な音が耳に入ってきます。特に秋は、この、「音を聞く行為」もサイクリングの大きい

なる楽しみの一つになります。落ち葉の上を走る時のカサカサコソコソという音。団栗どんぐりが地面に落ちるボタリという音。峠かに到着して一休みしている時間こえてくる鳥の鳴き声。オートバイや車でなら簡単に掻き消されてしまうであろうこうした、ごくごく小さい音が、自転車では意外な程よく聞こえるのです。

小さい音ほど大きく聞こえる。

仙人と呼ばれた画家、熊谷守一著「へたも絵のうち」（平凡社刊）からのお言葉です。彼は自分の庭をこよなく愛し、特に晩年は、一切そこから出る事無しに、蟻や葉っぱや土を日がな一日観察する事が習慣になつていたといえます。文献によると熊谷守一氏の自宅の庭は僅か十五坪。この決して広いとは云い難い庭が、彼の宇宙であつた訳です。様々な生き物の営みを観察し、それを獨ひとり楽しむ。この事が周りの人間をして彼

を獨樂どくらくの画家と云わせしめた所以ゆえんでありましょう。

自宅の庭に引きこもる事と自転車で山に出掛ける事。活動的か否かという判断において、表面上は大きな隔たりがあるように感じますが、實際のところその心根こころねの部分では、両者は相当な部分で価値観を共有出来るものなのかも知れません。

いつでも同じ小仏峠に出掛ける私に対し、「そんなに頻繁ひんぱんに同じ場所に出掛けて楽しいの？」と質問される方もいらつしやいます。楽しいんですなあ、これが。熊谷守一氏が毎日同じ庭を眺める事に熱中してきた気持ち、ちよつと理解出来たような気が致します。

Pursue your lofty Dream with eternal Optimism

【017】根岸栄一「ノーベル化学賞受賞記念座談会」より

サイクリングイベントのスタートの前はいつでも、完走出来るかどう
か不安になります。例えばグランfondハケ岳。全長120キロの山
岳granfondでそれなりの距離もありますし、何しろ結構登りがき
つい。でも自分の体力を考えれば完走に不安を持つ程ではない筈。前年
も完走出来ている訳ですし、120キロという距離を格段の長距離と感
じる訳でもありません。やはりスタート前の独特の雰囲気や緊張感が、
漠然とした不安を励起するのかも知れませんね。

こうした不安を感じるのは何もイベントの時だけではありません。一
人で行く自転車散歩の時も同様です。ま、さすがに100マイルは16

0キロ以内であれば特段の不安を覚える事は最近では稀なのですが、200キロを超える行程となりますと大丈夫かなあと感じる事もしばしばであります。

途中で動けなくなる程疲れちゃったらどうしよう。メカトラブルは起きないだろうか。天候は最後までもつかない。初めての峠だけど登りきれんだろうか……。不安に思える要素は様々ありますが、これらをいちいち気にしていても始まりません。

Pursue your lofty Dream with eternal Optimism.

「永遠の楽観主義をもって、気高き夢を追い続けよ」とでも訳せませうか。クロスカッピング技術で2010年のノーベル化学賞を受賞された米国パデュー大学の根岸栄一教授が、ノーベル賞受賞決定記念の

座談会で、現代の若者に向けての一言として発せられたお言葉です。

大丈夫。漕ぎ続けてさえいれば、きつと目的地に到着する。よく考えたらこれほど楽観主義的な発想も無い訳ですが、実際、長距離のサイクリングは、こうした楽観主義の元に成り立っていると申せましょう。千里の道も一歩から。行程があと何パーセント残っているととか、日没まで残り何分とか、不安要素を具体的に解決しようとするれば、多くのストレスが掛かります。そして結果から云えば、こうしたストレスは目的完遂の為にはブレーキになりこそすれ、役に立つ事など一つもないのです。何とかなるつしよ、漕ぎ続けていければ。この楽観的発想こそ、意外にも、千里の道を貫徹する原動力かんでつなのであります。自転車つて人生にちよつと似ているのかも知れませんかあ。

最も賢い生活は「時代の習慣を軽蔑しながら

しかも、その又習慣を少しも破らないように

暮らすことである

【018】芥川龍之介「河童」より

かつて私はオートバイの免許を取得し、カワサキのバイクに乗り始めました。時は1980年代。まだ若かりし学生時代の話であります。猫も杓子しやくしも自動二輪免許を求めたあの頃。いわゆるバイクブームと呼ばれていました。ホンダ、カワサキ、ヤマハ、スズキの各社からは矢継ぎ早に新型がリリースされ、それが飛ぶように売れていたのであります。

あの頃あれだけ出回っていたオートバイは、一体どこへ行ってしまうたのでありましようか。ブームが終わった現在でも、大型オートバイを

所有しそれに乗り続けている私は実はレアケースなのでありまして、ほとんどの方はバイクを降りてしまわれたと聞きます。

バイクブームだからバイクに乗り始めたのか、否、ブームなど関係なくバイクが好きだから乗り始めたのか、と問われれば、後者と答えるたいのは山々ですし、そう信じてもおります。しかし、バイクブームだったからこそ、興味を引くだけの情報が巷ちまたに溢あふれていたとも言えるのです。ブームが存在した以上、ブームと全く無縁だったとは言えますまい。

禁煙をきつかけに太ってしまうのを防ぐ為にマウンテンバイクを購入した時点では、ロードバイクの事など全く頭にありませんでしたし、恥ずかしながら、そもそも巷でロードバイクブームが騒がれている事すら知りませんでした。私が段々とロードバイクに傾倒していく様は、拙著「自転車に乗って変態になろう」をご覧頂くとしまして、かつてのオ

ートバイブームの時と同様に、ロードバイクブームの到来と時を同じくしてロードバイクに乗り始めたのであります。

ブームのようだしちよつとロードバイクに乗ってみようかな。こういうきっかけで乗り始めた訳では決してありません。単に巷のブーム到来と、私の自転車へのモチベーションの高まりが一致したに過ぎないので。でも、他の方から見ればそうは感じられないでしょう。Y a s って意外と軽薄だなあ。ブームを追い求めてばかりいるよ。そうお考えの方も多いでしょう。嗚呼、そうではないのに。実は今では、この軽薄短小なロードバイクブームに乗って取りあえずロードバイクを買っちゃったけど全然乗らないという人々を、蔑む^{さげす}とまでは云わないまでも、決して肯定する気にはなれない心持ちだというのに。

最も賢い生活は一時代の習慣を軽蔑しながら、しかも、その又習慣を

少しも破らないように暮らすことである。

芥川龍之介著、「河童」の中のお言葉です。ブームだからそれに乗ったという人も確かに存在するでしょう。そしてこうしたファッション感覚で始めた人々の多くが長続きせず辞めていく。しかしそういう方々は実は意外に少数派なのではないでしょうか。ブームを構成し維持し続ける人々の多くが「自分はブームに乗っかって始めた訳じゃない」と信じていると思うのです。

部品供給の面や、法整備の面から考えますと、この「ブーム」は消費者にとっては非常に便利であります。ちよつとした改造部品の入手のしやすさは、特筆に値する程。ただこういう時期は新しい部品規格、例えばBB30とか十一速化とか、も乱発されますので、部品互換を維持する知識の為に雑誌の定期購読は必須なのでありますかね。

自転車業界の活況に比べ、オートバイのサードパーティ製部品ときま
したら、流通量はかつての十分の一にも満たないんじゃないかなあ。あ
ると便利なステー類も、結局、市販品には見つからず、高価たかいお金を払
って知り合いの工場せんばんで旋盤で削りだして貰ったりして、結構物入り。で
も趣味のモノですからね。逆に一品モノの方が所有欲を満たしてくれた
りする訳しよさであります。いやはや市場動向こうしんに関わらず、病膏盲やまいこうに入るとい
う私の所作しよさは、更なる昂進こうしんの一途いっとを辿たどるばかりなのであります。

天才の身でない我々は

情熱を持ち続けることしか

この世を渡っていく術がないのだ

【019】押井守「凡人として生きるという事」より

天才と呼ばれる人への憧れが強く、少しでもその足跡そくせきから彼の精神かを

学びたいと云うモチベーションゆえ故、様々な方の著作に目を通すようにし

ています。そうしてみますと、もの凄い能力を有する人ほど謙虚である

事が多く、専門分野での卓越たくえつした能力は当たり前として、他人とのコミ

ュニケーション能力も高い事が、その著作から伺うかがえる方がほとんどであ

る事に気付きます。

かつて、天才IIマッドサイエンティストといったイメージが確かにあ

りました。研究者は押し並べて変人であるというあのイメージです。彼らの時代は、単独での研究で成果が期待出来るという、いわば技術後進時代であった故に、専門分野にのみ精通してさえいれば結果を残す事が出来たのでありましょう。ところが現代ではエレメントとしての個々の基礎技術開発は既に出揃でそろいつつあり、技術の具現化の為には、プロジェクト運営による計画的研究が必須となりつつあります。

例えば東京大学名誉教授の小柴昌俊先生こしばまさとしがニュートリノの研究でノーベル物理学賞を受賞なさった際、岐阜県神岡鉦山の廃坑に作られたカミオカンデという壮大な素粒子検出設備がその研究には必須でありました。この施設は東京大学と文部省（現 文部科学省）の予算によって作られたものでありまして、小柴先生個人の資産では、到底建造し得るものではありませんでした。小柴先生は物理学者でありながら、優れたプレゼン

テーション能力、ファシリテーション能力、ネゴシエーション能力を有していらつしやつた。だからこそ結果として、カミオカンデの建造を各方面に説得し、それがニュートリノの世界で初めての検出という偉業につな繋がったのであります。

専門分野以外にも、高いコミュニケーション能力や調整力をお持ちの現代の天才の方々のお話は、だからこそ非常に面白く、我々の興味を引くものなのであります。NHK BSハイビジョンを中心に、こうした我が国の現代の天才たちへのインタビューや談話や伝記が放送されており、それはそれは興味深いものなのであります。

天才の身でない我々は、情熱を持ち続けることしか、この世を渡つていく術がないのだ。

押井守著「凡人として生きるということ」（幻冬舎刊）の中のお言葉です。押井守氏は「ジャパンクオリティ」という造語まで作らせしめたアニメーション界の天才でありまして、うる星やつらシリーズ、攻殻機動隊シリーズ、機動警察パトレーバーシリーズの監督を務めるとともに、アニメ映画「イノセンス」（カンヌ国際映画祭出品作品）では日本SF大賞も受賞している、我が国を代表するクリエイターであります。

芸術家気取りの似非えせクリエイターにありがちな、傍若無人ぼうじゃくぶじんでチャイルディッシュな性癖みじんは微塵みじんも無く、決められた予算範囲はる内で、きちんと納期通りに、しかも万人の予想を遙はるかに凌駕りようがするクオリティの作品を仕上げてくる当たり、現代の天才と呼ぶにふさわしい方でありましょう。芸術家的な要素だけでなく、スポンサーや制作会社からも全幅ぜんぷくの信頼がかけられているからこそ、次々と質の高い依頼が舞い込むという好循環に繋

がっているのです。

アニメーション黎明期れいめいに名を馳はせた松本零士なんぞは、こういった大人の仕事とは縁遠い、子供のような振る舞いが目立ちます。黎明期だったから名を馳せられたのであって、もし彼の現出が三十年遅れていたら、全く無名のまま終わったでありましょう。宇宙戦艦ヤマトでは、オフィスアカデミー（現ウエストケープコーポレーション）に単なるキャラクタデザイナーとして雇われていただけにも関わらず、原作者であり総監督であり、松本の雇い主でもあった西崎義展氏に対して、宇宙戦艦ヤマト著作権訴訟を起こし、当然の事ながら敗訴しています。自身の代表作品は既に三十年前に出した銀河鉄道999スリーナインやキャプテンハーロックしかなく、過去の栄光にすぎる日々。クリエイターとしては力が無い事を自覚しているんでしょうが、それを公には認めたくないのでしょうか。結

局のところ宇宙開発事業団理事への立候補等の、売名行為に明け暮れる毎日なのであります。彼には政治的な方法での地位の維持しか方法がないのでしよう。既に老獺ろうかいと呼んで差し支えない程であります。ちよつとみつともねえなあ。仕事が出来ねえのならば、潔く後進に譲って引退しろよな。

天才の身でない我々は、情熱を持ち続けることしか、この世を渡っていく術がないのだ。

押井守氏のような本当の天才ですら、情熱を持ち続けるしかない、とおっしゃっているのです。自転車にしろ仕事にしろ、少なくとも、大いなる情熱を持って事に当たっていこうと決意した、私なのであります。

ゆつくり行くと 日射病にかかる恐れがあります

けれども 急ぎ過ぎると 汗をかいて

教会で寒けがします

【020】アルベール・カミュ「異邦人」より

峠 にアタックする際、最も重要なのはペース配分でしょう。たまらず足をついてしまうという状況は、実は坂のキツさよりも、どういったペースでアプローチするかという事に、より多く依存致します。

げきさか

激坂と云われる坂でも、適切な速度でアプローチすれば、ほとんどの場合、足つき無しで登る事が出来ます。ええ？無理だよ。どんなにゆつくり進んでも和田峠では足をついちやうよ、という方は、もしかしたら

そのペースが遅過ぎるのかも知れませんが、速過ぎても遅過ぎても、単位距離当たりの必要エネルギーは大きくなってしまいますからね。ペースが遅ければ単純にその分楽になる、という訳ではないのです。

和田峠で、歩く速度と同じ位かそれ以下で登坂している自転車を見る事があります。そのペダリングは既に回転運動とは呼べない領域に入っていますから、結局ヒンズースクワットを続けているのと同じで、すぐに筋肉が悲鳴を上げてしまうのも無理からぬ話でしょう。軽いギアで足をクルクル回す乗り方が出来れば、筋肉へのインパクトを循環系への負担に変える事が可能になります。循環系への負担は、勿論それが過度であつては無酸素運動になってしまう訳ですが、基本的には有酸素運動、いわゆるエアロビクスですので、ヒンズースクワットのような筋肉依存の運動と比較すれば、割と長時間の出力維持が可能となります。

そうは云つても、一旦落ちてしまった速度を回復するのは困難で、それが激坂であれば尚更であります。如何いかに速度を落とさず一定のペースで登り続けるかが、登坂のコツであるとも云えそうです。

逆に一定のペースよりも速いスピードを目指すと、循環系への負担が急速に大きくなって参ります。心拍数が高くなる状況です。心拍数を上げる事で、ヒンズースクワツト的な筋肉負担を減らせるというお話をしましたが、心拍数の増加があまりに大きい、すなわちAT値を越えるような心拍数まで上昇すると、酸素交換や乳酸の代謝が間に合わなくなり、結局、無酸素運動領域に入ってしまうのです。無酸素運動では筋肉に急速に乳酸が蓄積していきますから、短時間で限界がやってきてしまう事になります。

このように高過ぎず低過ぎない、ある一定の心拍範囲内で、しかも過

度な筋肉負担を抑えて軽いギアでペダルをクルクル回す事が、より効率の良い登坂に繋がる訳です。その為に、私を含め多くのサイクリストが心拍計を装着し、モニターしながら登坂しています。心拍計を導入する事で、結果として足つきの率^{リッ}は激減するのであります。心拍計は自転車の物理的性能とは無縁だから買わないとお考えの方がいらつしやいましたら、騙^{だま}されたと思つて是非とも導入して下さいまし。目^{うろこ}から鱗^{うろこ}が落ちる事、間違い無しで御座います。

一定のペースの維持が安定した登坂に効果的である事は、衆^{しゅうもく}目の一致するところでありましょう。ところが事はそんなに簡単ではありません。人間は競争を好む動物であります。タイムだつて気になりますし、抜かされれば腹も立ちます。好タイムを追い求めたり、前走者に無理についていこうとしたりすると、一挙に体力を無駄に消費する事に直結して、

足つきのリスクは急速に高まってしまいます。坂で足をつくのは体力が無いからでも根性が無いからでもありません。適切なペースで登っていないだけなのであります。

ゆつくり行くと、日射病にかかる恐れがあります。けれども、急ぎ過ぎると、汗をかいて、教会で寒けがします。

アルベール・カミュ著「異邦人」の中のお言葉です。結局のところ、物事のほとんどはバランスの問題なのかも知れませんが、出し惜しみしていては登れない。しかし、過ぎたるは及ばざるが如しこと。自転車も仕事も人間関係も、バランス感覚が大切という意味において、非常に似ていると言えそうです。

もっと軽い呼吸がほしい

せめて 自分の吐いた息がまじってほしい

新鮮な呼吸がほしい

【021】安部公房「砂の女」より

あの観測史上最も暑かった昨年の夏を、懐かしく思い出す程、寒い日が続いております。寒いと自転車でお出掛けしようというモチベーションは、急速に萎しぼんでしまいます。一旦出発すれば、じきに体は温まり、爽快感に満ちたサイクリングになる事は分かっちゃあいるんですがね。暖かい部屋を出るのが、どうしても億劫になつてしまうのであります。

弱気むちの虫に鞭打むちって冬の自転車散歩に出掛けますと、ああ、やっぱり出掛けて正解だった、外は気持ち良いや、と気付きます。空気が澄み切

っているんですね。殊ことに小仏峠などの山間部に入りますと、空気の新鮮さはより顕著になります。路肩には雪が残り、気温は氷点下。ピンと張りつめた空気の中を頑張つて登坂しておりますと、汗が吹き出て参ります。比喩ひゆではなく実際に頭から湯気が出る。こんな冬のサイクリングも私は嫌いではありません。

夏ではこうはいきません。特に、激坂区間で時速一桁キロメートルまで落ちている時、粘度の高い、一種ゼリー状とも呼べるどろんとした空気が、体にまとわりつく感じが致します。

もつと軽い空気がほしい！
せめて、自分の吐いた息がまじつていない、新鮮な空気がほしい！

安部公房著「砂の女」の中のお言葉です。夏の激坂登坂つてまさにこ

んな感じ。それに比べれば、冬の凜と澄み切った空気は、登坂自体を楽しむには最高の環境であります。寒いから今日はやめとこうかなあという弱気を振り切って、頑張つて出掛けてみようかと決意する私でありました。

私たちに言葉が必要なかった

言葉なんてまるで役に立たなかった

【022】江國香織「神様のボート」より

数

年前と比較して、街を走るスポーツ自転車は激増げきぞうしました。コンビ

二にレーパン姿で入っても奇異な目を向けられる事もなくなりましたし、車道の左側を走っていて後続の自動車に不当な幅寄せを食う回数も減りました。ロードバイクに対する、一般市民の認知度が上がる事のメリットは、かなり大きいと申せましょう。

しかし周りの認知度向上に頼りきって、ラフな運転をする自転車が増えつつあるのも、また事実。こうした事案を何とかしない事には、ロードバイクの地位向上は望めそうにありません。

少し前まで、「え？自転車って車道を走って良いの？」という認識の方がたくさんいらっしやいました。ロードバイクで車道左端を走行中にクラクションを鳴らされ、「危ねえな！自転車は歩道に上がれ！」と云われた事も実際にあります。みなさまご存じかと思いますが、自転車は道路交通法上は車両になりますので、原則として車道の左側を走る事になります。一部の歩道に関して「歩道を走っても良い」と記されているだけでありまして、歩道を走らなければならぬなんて事は全くありません。

ロードバイクは車道の左端を走行するもの。こうした認識がみなさまに行き渡ったのは我々自転車乗りにとって朗報と申せますが、この事を「当然の権利」と誤って認識しているロードエイの方が増えてしまったように思います。本来道路は譲り合って使用すべき公共物であって、特定

の車両の為のものである筈がありません。例えば道路左側を走行中、駐車車両を避けようとして、何の後方確認も無しに右にはらむ自転車が見受けられます。彼にしてみれば悪いのは駐車車両であり、自分は当然の権利としてこれを追い越しているのだ、という意識かも知れませんが、とんでもありません。後方を確認し、後続車両に自分の意志を伝えてから右に出る事。これは方向指示機を装備していない自転車にとって、最低限取らねばならない道路上のコミュニケーションであります。

私たちに言葉なんか必要なかった。言葉なんてまるで役に立たなかった。

江國香織著「神様のボート」（新潮社）の中のお言葉です。「減速せよ、俺が先に出る」「追い抜いて先に行ってくれ」。こうした道路上の意思表示は多くの場合言葉ではなく、身振りで伝えられます。そしてそ

の行為は、言葉よりも余程的確にかつ瞬間的に、その意志を伝える事が
出来ます。

道路は全ての車両でシェアすべき公共物である事。意志疎通いしそつうの為のボ
ディランゲージを適切に使用する事。自らの安全の為に自転車じゆんしやの地位
向上の為に、遵守じゆんしゆすべき事であると改めて思うのであります。

女の批評っていつだってしがないじゃないか

まゐる素敵と むななっぺバカねの こいつだけだ

【023】三島由紀夫の言葉より

私の知り合いに、夫婦でロードバイクにお乗りになられている方が結構いらつしやいます。夫婦で共通の趣味を持つ事は素晴らしい事であります。ああ羨ましいうらや。グランフオンド八ヶ岳やマウント富士エコサイクリングにも、ご夫婦で参加されていらつしやる方々がちらほら。こういう風になれたら良いなと思いつつ、かみさんをショートサイクリングに誘い出したりしてはいるのですが、中々熱狂的になるところまではいかないようです。だって、「坂があるところは行かないよ。疲れちゃうの嫌だもん」というのが彼女の意見。嗚呼あ、坂を登ってこそ楽しいのに。

それでもうちの場合はまだ脈がある方なのかも知れません。周りの自転車乗りの方にお聞きしましたところ、状況は大きく二分されるようなのであります。意気投合し夫婦で自転車に熱中しちやうか、逆に丸つきり自転車に興味が無く高価な部品の購入に関しても価値観の壊れた馬鹿扱いをされるかという、両極端の振る舞い。

女の批評って二つきりしかないじゃないか。まあ素敵すてきと、あなたつてバカね、の二つだけだ。

日本を代表する作家、三島由紀夫氏のお言葉です。私は女性蔑視論者べっしではありません。いや、文豪三島由紀夫氏の言葉をお借りして、私の置かれている状況を説明してみようかと、そう考えただけであります、別に女性を馬鹿にしようなどと云う意識は、毛頭もっとう無いのでありますよ。

かみさんには、出来れば「まあ、自転車って素敵」と思って貰いたいもんであります。だって夫婦でサイクルイベントに参加している方々を見れば、みなさんとても楽しそうですね。それにしても素敵なのは自転車、馬鹿なのはあなたって論調は、まさしくかみさんのそれであります。文豪の人を見る眼というのは、それはそれは的確なのであります。

人間を人間たらしめているのはね 恥だと思っの

【024】角田光代「空中庭園」より

激坂を登っていて、「もう駄目だ。足をついちゃおうかな」と云う気

持ちが段々大きくなってきたという状況を想像してみてください。一旦こ
うした弱気が頭をもたげると、もういけません。考える事全てが、言い
訳ばかりになってきます。こうなったら実際に足を付くのも時間の問題。
何たって人間は精神の動物でありますからね。

こうした弱気な状況が、あるきつかけによつて一変する事があります。
「すごい！頑張ってください！」とハイカーの方に声を掛けられた場合
です。ましてやこれが若いお姉さんだったりすれば、足つきはおろか、
逆に一気に加速する事すらあり得ます。

人間を人間たらしめているのはね、恥だと思うの

角田光代著「空中庭園」（文芸春秋刊）のお言葉です。無様な姿むさまを見られたくない。恥をかきたくない一心で頑張ってしまう気持ちを「人間的」と評するのであれば、恥をかいてしまつてそれを誤魔化そうとするのもまた、人間的な行為であると申せましょう。

他人ひとの眼を気にするからこそ実現出来る事もある。こんな人生の真理に触れさせてくれる自転車つて、本当に素晴らしいですなあ。

ぼら振り返れば足跡が続くよ

【025】いきものがかり「茜色の約束」より

自 転車でお出掛けすると、私の場合、平均時速二十三キロ位。勿論その日の体調や目的地の標高、向かい風か否かなどの条件によっても変わりますが、時速二十キロを切る事も減多に無い代わりに時速二十五キロを越える事もほとんどありません。これでも平地では時速三十キロ強で巡航するようにしているのですよ。でも、信号で停まつたり、登り坂で喘あえいだりすると、結局平均速度は時速二十三キロ位になつちやうんです。

物理的には自動車やオートバイに比べれば信じられない程の遅さであるにも関わらず、意外な位に遠くに出掛ける事が出来るのがロードバイクであります。トコトコと漕ぎ続ければ、結局は目的地へ着く。陽が短

い今の季節は別にしても、夏場ならば150キロ程度は十分日帰りの距離であります。

ほら振り返れば足跡が続くよ

いきものがかりの「茜色の約束」（水野良樹作詞作曲）の歌詞です。

あまり進んでいないと思っても振り返ればそこには足跡が続き、結構遠くに来ているものであります。

私はほとんどの場合、単独でツーリングに出掛けますので、走っている最中は様々な考え事をしながら漕いでいる事が多く、まさに、気付いたら遠くまで来ていた、という感覚がぴったり。ま、考え事と云っても勿論公道を走る以上、最低限の安全確認はしている訳ですがね。

実生活において、数時間に渡って漫然まんぜんと色々な事に思いを巡らす事な

んて稀まれであります。私にとってのサイクリングは、瞑想めいそうとしての意味もある、非常に貴重な時間なのであります。

何でもないんだよ 何でもないから

人は信じるものが欲しいんだよ

【026】浦沢直樹「20世紀少年」より

初

初めての峠を自転車で登っていると、この峠はどこまで続くのだろうかと不安になる事があります。勝手知ったる地元の峠ならばペース配分も出来ませんが、初めての場所ではそうも参りません。

トコトコと一人で漕ぎ進んでいくと、途中で休憩している自転車が一台。これを口実こうじつに、私も休憩する事に致します。私の場合、登坂中は常に足を着く理由を探し続けていますから、まさしくこれ幸いとばかりに休憩中のローデイに話し掛けます。

お互い自転車を趣味とする者同士、すぐに打ち解け、自転車談義に花が咲きます。これもツーリングの大きな楽しみの一つ。以前出場したサイクルイベントの事、新しい部品の事、カーボンは本当に良いものなのかなんて話、お勧めのタイヤの事、美味しい食べ物屋さんあいたがらの事。あたかも旧知の間柄ごとの如く、浜の真砂まさごはつきねども……であります。

私のようなトコトコ派というのは世の中に結構いらつしやるようで、お互いにお互いの臭いを嗅ぎ分けるんでしょうなあ。会えば一発で分かるのであります。アスリート系のローデイを引き留めるのは気が引けます。ところが私を含むトコトコ派は逆に引き留めて貰う事を欲しているのでありますよ。

こうしてひとしきり会話を楽しんだ後、じゃ、そろそろ行きましようかという段になって、「ところで頂上まで、あとどれくらいですか」と

聞かれる事がしばしば御座います。私とて初めての峠ですから、どの位かと聞かれても答えられません。それ以前にそもそも残りの距離を聞いたところで登りが楽になる訳でもなく、あまり意味のない質問だとは思いますが、残りの距離を聞く方の多い事多い事。

何でもいいんだよ。何でもいいから、人は信じるものが欲しいんだよ

浦沢直樹作、20世紀少年（小学館ビッグコミック）よりのお言葉です。あとどのくらいですか？もう少しですよ。こんな会話から何ら具体的な情報は得られないのに、つつい聞いてしまうのであります。もう少しってどの位少しなの？こんな不確かな情報にも思わずがつてしまふ心の弱さ。アスリートの方とは異なり、我がトコトコ派は、愛すべき弱き人種なのであります。

年齢というものには元来意味はない

若い生活をしている者は若いし

老いた生活をしているものは老いている

【027】井上靖「氷壁」より

私は昭和四十年生まれ。微妙なお年頃であります。まだまだ若いつもりではありますよ。でも在りし日のような体力は出しようがありません。立派なオサーンである事に異論はありませんが、「老」という言葉を使われますと、ちよつと待つてくれよという気になります。でも「老」は確実に忍び寄っているのであります。

特に同窓会に参加した時、その事を強く感じます。すぐく若くて澆刺はつらつと
している友人もいれば、逆に「老人」と表現しても違和感を感じない友

人もいるのです。実年齢四十五歳。でも集団の見た目年齢は三十五歳、六十歳。相当なバラツキがあります。こうなると気になるのは、自分ほどの程度に見られているのだろうかという事。ま、見た目はともかく、少なくとも行動は若くありたいものであります。

年齢というものには元来意味はない。若い生活をしている者は若いし、老いた生活をしているものは老いている。

井上靖著、氷壁ひょうへき（新潮社）の中のお言葉です。マウント富士ヒルクラス、イムレースの五十歳代クラスの記録をみますと、これが三十歳代クラスの平均とさほど変わらないのであります。あまり運動をしない一般的な五十代と比較すれば、彼らはまさに化け物。やはり積極的に若い生活をされている方は、いつまでもお若いのでしようなあ。

あ、ところで昨日三月三日（木）はマウント富士ヒルクライムレースのエントリー日だったので、今年は結局申し込みをしませんでした。正午に申し込みサイトを見たところアクセス集中により全く繋がらず、ま、いいか、夜にエントリーすればと悠長ゆうちやうに考えていたら、既にエントリーは締め切られていたという体ていたらくであります。こうしたきっかけで老ふけ込んでしまわぬよう、積極的に自転車に乗らねばとは思うのですが、最近さいじんどうも寒くて出掛ける気にならないのです。しかも拡大なが距離こむ散歩な犬の散歩中に膝ひざを捻ひねってしまい、ますます出掛ける機会を失っております。

さ、老ふけ込まないように、今週末こそは自転車散歩に出掛ける事にしますかね。

とれを君に勧めるものは 君自身ばかりだ

【028】有島武郎「生まれいづる悩み」より

春であります。いよいよ自転車の季節がやってきます。自転車雑誌を

覗のぞいてみますと、新しい機材の情報で溢れ返っており、こう云うのを見ておきますと、どんどん物欲魂が励起されて参ります。まさに欲しいものだらけ。

うひひ。新しい自転車欲しいなあ。フレームはやっぱブリジストンアンカーのクロムモリブデン鋼にして、車輪はマングローブバイクスの大将に手組みでお願いする事にしよう。コンポはオールデュラは高価過ぎるから、基本、アルテグラで組んで、フロントシフタとSTIレバーだけデュラを奢おごるとするか。シートは何にしようかな。これはマングの

大将に相談だな。大将、シートとシートポストには一家言あるものね。
とすると、総額は……。ぎよへり、完全に予算オーバーだ。

我が敬愛するともちんさん曰く、いわ こういう輩を「妄想族」と呼ぶのだ
そうであります。しかしこの妄想タイムの楽しい事！「ロードバイクパ
ーツカタログ2010」なんていう分厚いムック本を読んでおりますと、
まさしく時間を忘れてしまうのであります。

良いね良いね、オススメの組み合わせだよ。しかもね、服が欲しいと
か時計が欲しいとか鞆が欲しいとか、ブランド品をネダっている訳じゃ
ないしね。自転車は健康器具だ。新しい自転車を買って健康が保てるの
であれば、これ程安い買い物もあるまい？こりや買うしかないよ。毎日
一生懸命働いているんだもの。自転車くらい買ったっていいよね。ねね
ね？それにね。おいらね。もう今年で四十六歳になる訳で、楽しく自転

車に乗れる期間なんて限られている訳よ。あえて言わせて頂きやしよう。「たった」数十万円の事を我慢し続けて、結局自転車に乗る事が体力的に無理な年齢になっちゃったとしたら、こりやもう一生の後悔ですぜ。ね？買うべきでしょ、新しい自転車。もうこりや絶対のオススメでしょ。

それを君に勧めるものは君自身ばかりだ。

有島武郎著、生まれいずる悩み（岩波書店）の中のお言葉です。買ったても良い？なんてレベルを遙かに超えて、少なくとも私にとつては、既に買う事自体が必然とも言え得る、新しいロードバイクでありますか、かみさんにはこれが中々理解して貰えないんですなあ。購入する事によるメリットについての合理的な説明の準備、すなわちかみさんへのプレゼンの用意は万端なのでありますよ。しかし敵は聞く耳をお持ちでないと申しますか、この購入の必然性を理解しようとすらくれられないので

あります。

それを君に勧めるものは君自身ばかりだ。

嗚呼、妄想族として悶々とした日々をこのまま続けるしかないのでは

りませうか。それとも家庭争議を覚悟で黙って買つちまいますか。

私のハートは揺れ動いているのであります。そういえば小学校四年の頃、誕生日に新しい自転車を買って貰えるかも知れない事になって、その時も今回と同じように悩み抜いたのでした。あれから三十五年も経過したというのに、一切の進歩も成長もなく、同じ悩みで同じように悶々とする、小学生並の私って一体……。

先入観は真実を遠ざける

【029】吉浦康裕監督作品「イブの時間」より

先入観や思い込みを重視し過ぎる行為は、正確な情報把握を妨げ、故に、的確な判断を阻害する事に繋がります。だからと云って検証に時間を掛け過ぎれば、逆に実行の機会を失いかねません。

東日本に未曾有みぞうの被害を与えた東北関東大震災。あらゆる想定を越えた規模のこの災害において、我々はこうした難しい判断を突きつけられました。そしてその状況は今もなお、継続中であります。

先入観を否定すれば、あらゆる予測は不能となります。ある仮説が先入観に過ぎないのか、それとも正しいであろう予測として今後の行動の

前提とすべきモノなのかどうかは、ある意味、紙一重であるとも申せませう。両者の切り分けは、非常に微妙であります。

先入観は真実を遠ざける。

2009年に劇場公開された吉浦康裕監督のアニメーション映画、イヴの時間の中のお言葉です。先入観に囚われ過ぎず、客観的な情報を待ちつつも、同時に機会を逃さぬ迅速な判断を行なう。非常に難しい行為である事はわかっています。しかしこう云った判断力や行動力、更にはそのバランス感覚こそが、リーダーに求められている資質である事も又確かであります。

一般的に、最初から予算も期間も十分な余裕を与えられたプロジェクトなど皆無です。様々な経営判断しかり、我々が実現しなければならな

いほとんどの事象は、せつぱ詰まった状態のモノばかりであると云えましょう。

とはいえ今回の東北関東大震災における、例えば枝野幸男官房長官らのリーダーに課せられた責任の逼迫度ひつぱくは、従来のモノに比べて桁違いに高く、その判断にともなうストレスは相当なものであろう事は想像に難くありません。

些細ささいな事ながら、計画停電の予定の発表を睨にらみつつ、本日の営業を行うべきかどうかを判断し、より素早くカスタマに連絡しなければならぬという、自営業者としての私の立場も、ごくごく小規模な責任範囲の話でありながらも、収入にも社会的責任にも直結する判断でありますので、十分な緊張感を持って対応している次第であります。

本稿執筆時は東日本大震災から二週間しか経過しておらず、地震の呼称が統一されていません

でした。後に政府から「東日本大震災」という呼称に統一する旨の通達が出されましたが、執筆時、当時最もよく使われていた「東北関東大震災」という表現を使用しました。電子書籍化にあたり「東北関東大震災」という表現を「東日本大震災」に変更しようかとも考えましたが、第一稿を尊重し、「東北関東大震災」という表記のままにしております。

いっさいの美しき理想は皆虚偽である

必要は最も確かなる理想である

【030】石川啄木「時代閉塞の現状」より

新しい自転車が欲しいよう。今年四十六歳になるつてえのに私の欲しいものときたら小学四年生並みのまま。相変わらず進歩の無い男なのであります。

暇さえあれば自転車雑誌を読み漁り、ネットを検索して情報を収集する。買うとしたら完成車ではなく、フレームやホイールや、その他部品を細かく指定し、自分専用の一台を組み上げてみたい。情報だけは耳年増みんどしま的に増えていきます。別にレースに出て勝たなければならぬ訳でもないのに、そんな大層なスペックの自転車なんぞ必要ない事は分かっている。

ます。でも欲しいものは欲しいのでありますよ。

私はもう若くありません。おそらく五十代になっても六十代になっても自転車には乗り続けるだろうとは思いますが、現在の質と量を保つて乗り続けられるのは一体何歳頃までであろうと考えれば、残された時間は決して多くない事に気付きます。今、最も欲しいスペックの自転車を買わねば、それにはもう一生乗れないかも知れないのです。

じゃ、買えばいいじゃん。ところが問題はそんなに簡単ではありません。ロードバイクは純粹にサイクリングの為だけの乗り物。実用性はゼロであります。しかも欲しい部品を積算すれば、ちよつとした中古の軽自動車を買える程の額！必要な品であれば躊躇無く買えるでしょう。しかし完全な趣味の為のツールに数十万円も掛けるには勇気がいります。しかも、更に既に私は一台ロードバイクを所有しているのです。必要性

という視点からは、甚だ説得力に欠ける状況であります。はなは

私の欲しい自転車は、ちよつと時代に逆行した感のある、クロムモリブデン鋼製の自転車。ツールドフランスやジャパンカップを見れば、ほぼカーボン製のロードバイク一色です。軽さにしろ振動吸収性にしろ、機能的には既にカーボンにかなう素材など存在しないのです。しかし私は選手ではありません。タイムなど関係ないのです。クロムモリブデン鋼製の自転車は、しなやかな乗車感が特徴と言われます。ゆったりとサイクリングに出掛けて疲れにくい自転車。嗚呼、トコトコ走りしんじょうを身上とする私の理想そのものでありましょう。

実は妄想もうそうの末、相当なスペックまでを既に決めていたりするのであります。勿論、かみさんには内緒ですけどね。欲しいよう。欲しいよう。欲しいよう。新しい自転車が欲しいよう。九分九厘買おうと決めているにも関わ

らず、あと一歩踏ん切りがつかないのは、そこに「買う必要性」が欠けていいるからであります。

いつさいの美しき理想は皆虚偽である。必要は最も確實なる理想である。

石川啄木著、時代閉塞の現状（岩波書店）からのお言葉です。妄想はするけれども結局は買うに至らない。決心がつかないのです。いつその事、お医者さんが「健康維持の為にブリジストンアンカーRNC7フレームは必須です」とか、明治安田生命が「変速系をデユラエースにして頂きませんと、保険料が割高になってしまいます」とか、日野税務署が「サドルをフィジークにしますと所得税の特別控除が受けられます」とか言ってくれば、踏ん切りがつくんですがねえ。

未だ決定的な「必要性」を見つけれない私は、
相変わらずウジウジ
と^{しゅんじゅん}逡巡しているばかりなのであります。

「日は貴い」生である 心を空費してはならない

【031】内村鑑三「一日一生」より

冬の間、自転車をサボっていたお陰で、だいぶ太ってしまいました。

ま、いよいよシーズンインですから、これからは積極的に乗っていきましょうのですが……。冬の間ついでにしまったサボり癖は、中々治らないのでありますよ。

寒いから乗らない。暑いから乗らない。雨が降りそうだから乗らない。陽に焼けそうだから乗らない。花粉が飛ぶから乗らない。仕事に差し支えるといけなから乗らない。朝練をサボる理由には事欠きません。

一日は貴い一生である。これを空費してはならない。

内村鑑三著、一日一生（教文館刊）の中のお言葉です。至言でありま
す。今日一日くらい良いじゃん、と考えがち。でも違うのです。今日と
いう一日は一生にも値する貴い時間であると認識して、練習に励まなけ
ればならないのです。分かっちゃいるんだけどねえ。

どの路でも足の方へゆけば 必ずといる

見るべく 向くべく 感ずべく 獲物があまる

【032】国木田独歩「武蔵野」より

急

に春めいて参りました。自転車の季節到来です。どこに行こうかなあ。地図を見ながらあれこれと行き先を考えるのも、実に楽しい行為であります。

ところが楽しい気持ちとは裏腹に、長らくの冬眠生活により体力は落ちまくっていて、ちよつとした坂でも息が切れてしまう始末。昨シーズンには軽くこなせていた百マイルという距離も、今となつては夢のまた夢。それどころか百キロすら危ない状態です。

とりあえず「平地で」かつ「八十キロ以内で」かつ「都心は除く」という条件で行き先を考えてみました。日野市という立地では、峠を避け都心を避けるとなると入間方面いるまに向かうか、多摩川を下るかしかありません。結局国道十六号線を埼玉方面に進み、サイボクハムに行く計画を立ててみました。

サイボクには今まで何回も行っていますし、ルートも国道を進むだけ。途中、クリアすべき峠などありませんし、こりやあまり面白くないかなとも思いましたが、体力の落ちた冬眠明けのへろへろ状態では、選択の余地などありません。面白くないのは覚悟の上で、とにかく出発する事に致しました。

国道をトコトコと進んでおりますと、意外や意外、これが結構楽しいんでありますよ。久しぶりに体を動かす快感はもとより、周りの風景を

眺めながら漕ぐ行為も楽しくて仕方がありません。

どの路でも足の向く方へゆけば、必ずそこに見るべく、向くべく、感ずべき獲物がある。

国木田独歩著「武蔵野」の中のお言葉です。あれこれ先読みして逡巡しゆんじゆんしている位なら、思い切つて出掛けてみた方が良いでしょう。見るべき向くべき感ずべき獲物は、きつと存在するのであります。

往路ををそのまま戻つても能がありませんから、所沢の航空記念公園にまわつてみる事にしました。実はこれが初めての航空記念公園であります。市街地にいきなりYS11が停まっている風景は、一見の価値ありで御座いましたよ。所沢からは松ヶ丘の市街地を抜けて、西武ドーム経由で多摩湖を巡り、上北台からモノレール沿いを南下するルートで戻

つてきました。初めての道ですが、スマートフォンが大活躍。何の不安もなく戻って来れました。結局、行程の半分以上が初めての道という結果に。ちよつとした探検であります。思い切ってお出掛けして、大正解でありました。

わかってはいるが わかるわけにはいかぬのだ

【033】島本和彦「無謀キャプテン」より

冬

の間怠惰に過ごしていたら、太って参りました。こりやイカン。自

おっくう

転車に乗らなくちゃ。でも一旦太つてしまつてしまつと出掛ける事自体が億劫になるのであります。億劫になるから出掛けない。出掛けないから太つてしまう。太ると億劫になる。こうした負のスパイラルを抜け出す為には、なにも考えずに思い切つて出掛けるしか方法がありません。

四月十六日（土）、久々に峠込みの百キロメートルルートにお出掛けする事に致しました。ちよつと不安ではありますが、いざ出発！

日野万願寺基地を出て、浅川サイクリングロードを西進。高尾の陵南

公園から東京霊園を越えて川原宿へ向かいます。陣馬街道を横切り、圏央道八王子西インターチェンジを左に見ながらひたすら北上。上川橋で秋川街道に突き当たってそこを左折。全体に登り基調のルートです。新しく出来たトンネルを抜けて都立小峰公園を過ぎれば、程なく武蔵五日市に到着です。

車で武蔵五日市に向かう場合、日野からだど新奥多摩街道を利用するのが一般的ですから、今回のルートは感覚的には「武蔵五日市までの裏道」にあたる訳であります。

久々の登りルートという事もあり、既にこの時点でかなりくたびれておりましたが、弛たるんだ体に鞭むち打って先を目指します。そう。檜ひの原村の有名な豆腐店、ちとせ屋で豆乳ソフトクリームを頂くのでありますよ。この店のソフトクリームはさっぱりとしていてまさに絶品！カロリーを

気にしないのであれば一気に五つ食べる事も可能なのであります。Ya
sの一押し。

トコトコと進んでちとせ屋に無事到着。嗚呼やっぱりこのソフトク
リームは最高だぜ。

ちとせ屋を出て先を目指します。檜原街道をさらに奥へ。其処彼処で

花が満開。いやあ春ですなあ。南郷の部落を抜け、上川乗交差点まで来

かみかわのり

ました。ここを直進すると都民の森經由奥多摩方面に行けます。今日

こうぶ

つづらお

は都民の森には登らずここを左折。甲武トンネルに向かって九十九折りの道
をトコトコと登っていきます。ギアは勿論インナーロー。時速一桁
ですが、何とか足は着かずに進みます。良いのさ、レースじゃねえんだ
から。汗だらだら。心拍上昇。久々の感覚です。苦しいけど気持ちいい。
やっぱり峠は良いなあ。

甲武トンネルを抜けると、上野原までは多少の登り区間はあるものずつと下り基調です。上野原は山梨県、檜原村は東京都。甲斐の国と武蔵の国をつなぐトンネルなので甲武トンネルという名なのでしょう。

上野原からは甲州街道を東進します。結構交通量があるので道の左端をトコトコと進みます。

大垂水峠手前の小原おばらの郷さとで一休みです。ここはちよつとした道の駅風の施設で、地元の野菜なんかを売っています。トイレも自販機もあるので休憩にはびつたり。今日は甲武トンネルだけで結構疲れちゃったので大垂水峠は越えずに、千木良ちぎらから阿津あつに出て、津久井湖經由橋本回りの平坦なルートをとろうかなと気弱な事を考えておりますと、後から十人程の集団がやってきました。男女半々のグループです。

「これからどちらへ」「ええ日野に帰ります」なんて会話をしましたところ、「じゃ私たちと方向が一緒ですね。これから大垂水越えでしょ。

一緒に行きませんか」なんて話になっちまいました。女性の方が峠を越えるっておっしゃるのに、大の男が「あちきは津久井湖經由平坦路をタラタラと」なんて言い出す訳にも参りません。疲れている素振りそぶなんぞ露つゆほども見せず、爽さわやかに同行を快諾かいだくしたのでありました。

ボトルに水を補充して、さて出発です。小原の郷を出て甲州街道を進みます。登りだというのに集団は時速二十キロ以上をキープしています。おいおい、女性も居るってえのにちよつとペースが速すぎやしねえか？更に進んで、峠入り口の国土交通省の電光掲示温度計のところにさしかかりました。ピ。ピ。ピ。男女計十人が一斉にハンドルに装着したストップウォッチをリセットします。野郎、そういう奴らか！彼らは楽し

くサイクリングをしようとするグループではなく、大垂水峠越えのタイムを記録するような練習集団だったのであります。気付けば向こうはスレンダーな若者ばかり。対してこちらはメタボな親父で、しかも冬眠により約五パーセント増量中。かな適いつこありません。ここで諦めあきらちまうか？でもそれではあまりにも情けない。意地でもこいつらについて行かなきゃ。でも無理だろうなあ。既にクタクタだし。

わかつてはいるが、わかるわけにはいかんのだ。

島本和彦の漫画「無謀キャプテン」（リュウコミックス）の中のお言葉です。分かつてはいても、男には、分かる訳にはいかない時があるの
であります。

冬眠明けの甲武トンネル越えで既にクタクタだったにも関わらず、大

垂水峠を意地だけで全線立ち漕ぎで越えた私は、峠を下ったところにある高尾のファミリーマートで力尽きました。コーラのの五百ミリリットルのペットボトルを一気に飲み干したのなんて、何年ぶりの事でありましょうか。

こういうのを年寄りの冷や水と呼ぶのでありましたとき。あゝちかれました。

たいていの人は意気地なしね じゃんとおぼると

【034】夏目漱石「行人」より

買

つちやおうかなあ。やめといたほうが良いかなあ。贅沢ぜいたくかなあ。でも買うとすれば今しかないよな。

最近の私ときましたら、頭の中は新しい自転車の事ばかり。夢のオーダーフレームが手に入るかも知れないという千載一遇せんざいいちぐうのチャンスですから妄想にもそりや熱が入ると云うもんであります。

ところがいざ決断しようとする、逡巡しゆんじゆんしてしまふですなあ。まだかみさんにも相談してないんですよ。故に新しい自転車の購入に対して、明確に反対する人が居る訳じゃない。それなのにクヨクヨしてしまうの

です。貧乏性なのかしらん。

たいていの男は意気地なしね、いざとなると。

夏目漱石著「行人」こうじん（新潮社）の中のお言葉です。明治の男をもつて

しても、意気地なしと云わせしむるとは、結局のところ男というものは、昔から実は女々しい存在なのかも知れませんねえ。

考えれば考えるほど、ウジウジと泥沼にハマっていきます。あらやだ、あたしついたらすっかり悩んじゃったわ。仕方ないでしょ。決められないんだもの。そうよ。買おうかどうかしようか決められないのっ。だって僕ちゃん女の子だもん。あれ？

悪だくど、悪いやぶかった

悪だくど、悪いやぶかった

【035】宮崎駿監督作品「となりのトトロ」より

新

新しい自転車が欲しくて欲しくて、でも中々踏ん切りがつかなくて、ダメ元でかみさんに「買って良い？」って聞いたたら、意外にも快諾かいだく。

自転車に乗れるのなんて何歳までだと思いの？そりゃ乗る事は乗れるでしょうけど、今のレベルを七十歳まで維持出来る訳じゃないでしょ。

乗りたいものがあるなら少しでも早く乗る事が、長く楽しめる事に繋つなが

ると思うの。フルオーダーの自転車なんて、今買わなければきつと一生買わない事になっちゃうよ。四十五万？五十万？どーんと買っちゃいなさいよ。云わせて貰えば「たかが五十万円」じゃん。そりゃね大金だよ。

でもね普段一生懸命稼いでるんだし、良いでしょそれ位。これで車が趣味だったら軽く五百万超だよ。それに比べれば健康的だしリーズナブルだし。そもそもね、この歳になってね、仕事関係でもない、同級生でもない、ご近所でもない、純粋な自転車の友達が居るなんて、大層幸せな事よ。私は今回思い切ってオーダーすべきだと思うなあ。それにしてもシヨツキングピンクってのは驚いたけど。

夢だけど夢じゃなかった、夢だけど夢じゃなかった。

宮崎駿監督作品「となりのトトロ」さつきの中の五月とメイのお言葉です。

有り難う。我が女房ながら見直したよ。嬉し。色々な事を考えて一人しゅんじゅん逡巡していましたが、こうして誰かに背中を押されると、一気に前向きに考えられるから、人間てえのは不思議なモンであります。

それにしても、かみさんの決断力、どこから出てくるんでありましょ
うかねえ。いざという時の思い切りといたら、私なんぞとは比較にな
りません。そういえば、サラリーマンを辞めて独立する時も、マイホー
ムを買う時も、ど〜んと背中を押してくれたのは、常にかみさんであり
ました。ありり？ 家長としての僕ちんの立場って．．．？

五十歩と百歩で 五十歩と百歩は

大変な違いなんだと私に思っ

【036】坂口安吾「白痴」より

ポジション出しの為の作業に掛けるマングローブバイクスの大将の情熱たるや、もの凄いものが御座います。雑誌等でポジション決め的重要性は説かれておりますが、実際にここまで真剣にポジションを考えてくれる自転車屋さんって、そうは無いんじゃないかなと思います。

自転車のポジションは、平たく申しますと自転車と人間の接点を確定する作業でありまして、通常この接点は三ヶ所。ハンドル、サドル、ペダルであります。ただし事はそれほど簡単では御座いません。例えばサドルを固定しているシートポストは後ろに向かって傾斜していますから、

サドルを上げようという行為はサドルを後退させる、すなわちハンドルまでの距離を離す事、同時にペダルを前方に移動させる事と同義になります。一つの要素が変わると複数の数値が同時に動く。非常に三次元的な作業なのであります。

大将の作業は大胆かつ緻密に進んでいきます。最後の調整はコンマ五ミリ単位。それでいて、もしそのセッティングが気に入らなければ、思い切って初めからやり直す事も厭いとわない大胆さ。ハンドル下げたり、シートを前に出したり、クリートの位置を動かしたり。ローラー台に固定された自転車を、漕いではセッティングを変更し漕いではセッティングを変更し、といった作業を繰り返していきます。

五十歩百歩で、五十歩と百歩は大変な違いなんだと私は思う。

坂口安吾著「白痴」（新潮社）の中のお言葉です。我々素人にはほとんど違いがないようにも思えるこうした微妙なセッティングの違いを積み上げていく事で、初めて「理想のポジション」を手に入れる事が出来る事を、元競輪選手の大将は熟知しているのであります。彼の作業には妥協という言葉はありません。五十歩と百歩は二倍も違うじやないか。まさにそう考えているかのようです。

作業の緻密ちみつさにおいて全幅ぜんぷくの信頼がおけるマングローブバイクスであります。ちよつと心配になる事もあります。先日新しくシマノのSPDシューズを注文したのですが、「Yasさんね、新しいシューズ木曜日に入荷するから、自転車に乗れる格好してロードバイク持ってきてね。シューズのセッティングするから。そうだなあ二時間くらい見といてね」と宣のたまうではありませんか。靴を買っただけなのに二時間のセッティン

グ！きつとローラー台で自転車漕ぎながら、クリートの位置を決めているのだと思いますが、靴を買っただけでこの手間ですからねえ。こんな
にいちいちお客に手を掛けていて、元が取れるのでありましようか。心配
だあ。それにしても、もの凄くいコダワリであります。

■ マングローブバイクス ■

東京都立川市にある自転車プロショップ。大将は元競輪選手。

電話 042 (5335) 3725 <http://mangrovebikes.blogspot.jp>

ひとつ覚えておいていたただきたいのですが

ものごとくは見かけと違っています

【037】村上春樹「1Q84」より

新

しい自転車には、あえて旧規格と云うべきスレッドステム、ホリゾンタルなクロモリフレームを採用しました。最新のグラマラスなカーボバイクも格好良いですが、折角のオーダーですから、昔からの夢を実現させたいと考えたのです。こうして結局、一見クラシカルなシルエツトを持つロードバイクを注文する事になったのでありました。

今回のオーダー車は単なる復古指向ふっこのモノではありません。確かにシルエツトは旧車然としています。しかしグロツシーグレーの新型アルテグラや、フィジークの最新サドルなど、随所に新しい部品を搭載してい

ますから、いわば「ネオ・クラシカル」とでも呼ぶべき自転車なのであります。

ひとつ覚えておいていただきたいのですが、ものごとは見かけと違います。

村上春樹著「1Q84」（新潮社）からのお言葉です。実は私は、こうした「羊の皮を被った狼」的なモノを好む傾向が強く、今回のオーダー自転車以外にも、例えば、オートバイについても、似たような嗜好傾向があるのです。

私の所有するカワサキZRX1100は、かつて王者エディローソンが駆ったZ1000R、通称ローソンレプリカの復刻版とも云うべきシムルエットのオートバイであります。元となったZ1000Rは空冷エン

ジンでしたが、ZRX1100は水冷のDOHC16バルブエンジンで武装されております。シエイプは私が高校時代に憧れた三十年前のクラシカルなモノでありながら、エンジン出力は軽く百馬力を越えます。高出力な車体を安全に減速させる為に、トキコ製の対向12ポット油圧ダブルディスクブレーキを搭載しており、動力性能は新型にも引けを取りません。

私の所有する自転車もオートバイも、いわば「羊の皮を被った狼」であります。これらのマシンを駆る私自身は「豚の皮を被ったラビットちゃん」でありまして、何ともヘニヨピリンな、しまらない話なのであります。

ものにも名前が付けば

意味が生まれ認識され 世界が確立する

【038】桐野夏生「東京島」より

自転車でもオートバイでも、一般的に二輪車には、メーカー名が大きくなるのが普通です。私の所有物で例を挙げれば「PINARELLO」しかり、「KAWASAKI」しかり。マスプロダクト品であれば、ある程度納得出来る話ではありますが、オーダー品についてもこの傾向は変わらず、以前からこれってちよつとどうかなと、感じておりました。

考えてもみて下さい。例えばコダワリの注文住宅を建てたとして、住宅メーカーの名前が大書されていたとしたら、明らかにおかしいでしょう？壁一面に「積水ハウス」とかね（笑）。でも多くのフレーム工房で

は、こうした事が普通に行われているのです。

ものに名前が付けば、意味が生まれ認識され、世界が確立する。

桐野夏生著「東京島」(新潮社)の中のお言葉です。メーカー名の大書には、ブランド崇拜すうはいの意識がその根底にあるような気がしてなりません。そして一旦ブランド名が冠されれば、そのイメージは一人歩きを始めてしまいます。

こうした一切の既成概念を捨て去るべく、今回のオーダーフレームには、「bomber pro」のメインロゴは入っておりません。こうした注文を快く思わないビルダいだりんせいさんも多いと聞きます。ところが今回、ビルダの井田倫正氏は、私からのこの注文を受け入れてくれました。やはり腕に自信があるからこそなんでありましようなあ。勿論、チエーン

ステー部分の「handmade by Rinsei」のロゴや、シートステー笹葉ささばの「bomberr pro」の刻印は、しっかり入れて貰いましたよ。私としても、井田倫正氏きんせい謹製である事は、アピールしたいですね。

明日のために 今日の日暮に耐えるのだ

【039】西崎義展「宇宙戦艦ヤマト」より

自転車に乗っていて一番嬉うれしい事は、自らにまだ体力的な成長の余地が残っていた事に気付ける点でありましょう。老眼も始まりつつある齡よわい四十五にして、練習によつて登坂タイムが向上していく驚きと喜び。体力的には当然下降するばかりと思つていたにも関わらず、自転車に乗り初めてこの数年、安静時心拍は四十台にまで下がり、登れなかつた峠も足付きなしで到達出来るようになりました。これつてスゴい事だと思いませんか？

自然の摂理から考えれば、中年以降は年々体力が落ちていくのが普通でありましょう。歳をとつても一定以上の水準を保とうとすれば、若い

頃、いかに高いレベルまで到達出来ていたかが鍵になるのだと、長い間もうしん盲信しておりました。いわば若い頃の貯金を取り崩して生きていくという、マイナス思考的な発想であつた訳であります。

実は、体力も貯金も非常に似たロジックに沿っていて、現在どのレベルにあるかとか、口座に残高が幾らあるとかがつて、メンタルな面から考えますと、それほど重要ではない事に気付きます。それよりも大切なのはベクトルでありましょう。体力なら向上しつつあるのか、貯金なら増加しつつあるのかといったベクトルの「向き」の方が、はるかに精神的な充足度に与える影響は大きいと思うのです。どんなお金持ちであつても、年々貯金残高が減つていくという事実を前に漠然とした不安を抱くのは当然であります。逆にどんなに儉しい生活つまであろうとも、年金の中から少しずつでも貯金に回そうとするのが、人間の性さがつてヤツでありま

す、

四十半ばを過ぎ、体力的な面では既に枯れていくだけと諦めていた自分が、努力する事で向上出来るのだという事実を実感し得た事は、自転車に乗るといふ趣味における、最大の喜びでありました。よく見ても、次の機会にはきつとクリアしてやる。向上の予感モチベーションを奮い立たせます。今、多くの中年世代がロードバイクに傾倒していくのは、こうした嬉しい驚きと熱いモチベーションを持てる故なのではないでしょうか。まさに青春時代の再来であります。

若い奴に抜かれてもへっちゃら。逆転を諦めているわけではありません。覚えてやがれ、次は負けないぞ。向上が予感出来るからこそ、モチベーションが維持出来るのだと思います。そういえば若い頃つて、常にこういう思考だったよなあ。未来があると思えば、負けも苦にならない

ばかりか、努力の為のバネに転化出来るのでありますよ。

明日のために、今日の屈辱くつじやくに耐えるのだ。

西崎義展よしひろ原作、宇宙戦艦ヤマトの中での沖田十三艦長じゅうぞうのお言葉です。

ガミラス帝国の理不尽な攻撃を受け敗走を続ける地球防衛艦隊において、玉碎覚悟ぎよくげんごの最終攻撃を進言する部下からの具申ぐしんをいなし、負け戦を甘んじて認め、戦線からの一時離脱を決意する沖田艦長には、信ずる事の出来る「明日」が見えていたのであります。

自転車にはこれに似た「自らの明日」を感じさせてくれる特別な魅力があります。ロードバイクという趣味に出会えて本当に良かったと、大いに実感する瞬間です。

馬鹿は死ななまや治らな

【040】広沢虎造「浪曲・森の石松金比羅代参」より



ロードバイクで街中を走っておりますと、信号無視をする自転車の多い事多い事。自転車は押していれば歩行者扱いですが、乗っている時は、

法律上歴然と「車両」であります。ちよつと考えてみて下さい。もし同じ振る舞いを、同じ「車両」であるオートバイがしたとすれば、交通は滅茶苦茶めちやくちやになつてしまつてしょう？

ま、それでも運転免許を持たない方の中には、自転車は車両よりも歩行者に近い存在だと思ひ込んでいらつしやる方も多いでしょうから、現時点では諦めるあきらしかないのかも知れません。

問題は運転免許を持っている方であります。免許の更新に行きますと、「自転車は車両であり、車道の左側を走行するのが本来の姿である」旨をしきりに説明する事に気がきます。昔はこんな説明はなかったのがね。ま、こうした警察による啓蒙活動以前に、信号を守らない自転車がどれほど迷惑であるかを認識しているドライバーやライダーの方が、いざ自分が自転車に乗ったら信号無視をするってえのは理屈に合わないばかりか、いつそいつ、頭がオカシいんじゃないやねえかってさえ思うのであります。

更にこうした信号無視が、ママチャリだけでなくロードバイクに乗る人によっても行われている事実には、驚きを禁じ得ません。ロードバイクに乗る人は、シヨップや雑誌などで、交通社会における自転車の地位等についての話を聞く機会が多い筈でありまして、まさか「ロードバイク

は車両というより歩行者に近いものだと思っていた」なんて今更信じてる奴はいないでしょう。奴らは確信犯的にやっているのです。しかも中学生や高校生ならともかく、いい歳こいたオッサンがやっている訳ですから、こりやもう救いようがありません。矯正は不能きようせいでありましよう。

馬鹿は死ななきや治らない

広沢虎造の浪曲、森の石松金毘羅代参の中のお言葉です。一定のスピードで走っている時に、停まらなければいけないのが苦痛なのは認めます。でもね、だからといって信号無視をして良い理由には決してなりません。これって「お金を払うのが苦痛だから万引きしちゃう」のと全く同じロジックですからなあ。

我々は自分の信号が青であれば、そして少なくとも自分が直進するのであれば、横からの信号無視車を想定した走り方はしないのが普通であります。一般的に、事故が発生した場合は過失割合という考え方に則り、信号が青の際の直進車にも注意義務があるとされますが、青信号の度にいちいち横からの無法者が飛び出す前提で徐行していたら、深刻な渋滞が発生する事は間違いありません。交通信号機とは、いわばこうした事態を打破する為の装置でありまして、これを無視するという事は、交通システムに対するテロ行為に他ならないのであります。

白バイやパトカーも、十数キロオーバーの善良な車を捕まえている暇があつたら、こうしたテロリストを捕まえて、極刑に処して貰いたいもんであります。

いっまでもぐぐぐしないでいっするから

行くって決めたのならもう行くって

【041】サン・テグジュベリ「星の王子様」より



グループでお出掛けする時と異なり、ソロツーリングでは食堂やレス
トランには何となく入りづらく、結局、食事も小休止も全てコンビニに
なってしまう事もしばしばであります。ぴちぴちパンツ姿って普通の人
から見れば変態に他なりませんもんね。だいぶ慣れたとはいえ、特に一
人きりの時はまだ他人の眼を意識してしまいます。

その点コンビニならばレーパンでもへっちゃら。特に街道沿いのコン
ビニであればレーパンを穿いたサイクリストの姿も多く、店員さんも見
慣れていますしね。そもそも食堂に比べても機能的にはコンビニの方が

断然上。食事やお菓子などのラインナップも豊富です。当然、水や栄養ドリンクも補給出来ますし、トイレも借りられる。コンビニってホントに有り難いすなあ。

コンビニは神。確か2ちゃんねるに書き込まれていたのだったと記憶しておりますが、上手い事を云う人がいるものであります。灼熱の真夏に食べるガリガリ君、真冬の冷えきった体を温めてくれる肉まんやおでん。今まで何度助けて貰った事でありましょう。欲しいモノが欲しい状態で置いてありそれを簡単に手に入れられる幸せ。まさにコンビニは神であります。

サイクリングに休憩は必須であります。しかし難しいのは長く休むと体が冷えてしまう点。自転車の場合積載出来る荷物がごくごく限られていますから、余分な上着などはなるべく持ちたくありません。すると走

行時に快適な服装をだけを考えてウェアを選択する事になってしまふ為
に、休憩中の体温維持って意外に難しいのであります。

要は休憩は短めにしてサツサと出発すれば良いのであります。分かっ
てはいるのですが、一度休んでしまふと再出発が億劫おっくうになってしまふの
も事実。結局、補給が済んだ後もダラダラと休んでしまふ事もしばしば
です。極端に暑い日や寒い日は特にね。

さあ、いつまでもぐずぐずしないで。いらいらするから。行くつて決
めたのなら、もう行つて。

サン・テグジュペリ著「星の王子様」からのお言葉です。ぐずぐずダ
ラダラしても良い事などありません。分かっているのに、ぐずぐずして
しまふ。朝、起きなければいけない時刻なのに「うゝん、あと一分だけ」

とぐずぐずしてしまふあの行為と本質的には同じなのでありましょう。

我ながら意志が弱いなあと半ば呆れつつ、ぐずぐずもなかなかの快感
だったりするのでありました。

悪くはしたと云ふ

いぬんば、いって、いっんだジ

幼稚園じゃ皆とっしてゐるジ

【042】白井儀人「クレヨンしんちゃん」より

先

日、な〜んか変な看板を見掛けました。「サイクリングロードは歩

行者優先です」だつてさ。ふふふ。行政の馬鹿さ加減も来るところまで

来たという感じですね。これじゃサイクリングロードじゃねえじゃん。

何でこんな事になるかというと、次のようなプロセスを経た結果なの
だと推測されます。

まずは川の堤防に沿って国主導でサイクリングロードを作った

ところが歩行者やジョガーがこの道を使い始めた

自転車と歩行者の事故が発生した

交通弱者救済という観点から自転車側の過失割合が増大させられた

国土交通省のページには、「大規模自転車道整備計画」と明記されています。元々は純粹にサイクリングロードとして出来た道なのです。ところが歩行者を規制する決まりや罰則が無かった為に、どんどん自転車道に歩行者が流入してしまいました。ロードバイクは軽く時速三十キロで巡航出来ます。これだけの速度差が存在し、しかもあくまでも自転車が優先であり歩行者は間借りしているに過ぎないという理解が無い状態では、事故が起きるのはもはや当然でありましょう。

河川敷は国の持ち物です。その利用権を地方自治体に貸与しているに

過ぎません。多くの場合、地方自治体の解釈の間違いにより、「サイクリングロードは歩行者優先です」なんて阿呆な看板が立つようになってしまったのであります。

これって自動車と考えてみたら、かなり無理がありますぜ。例えば自動車専用道路である東名高速に、事実上罰則が無いのを良い事に、歩行者が入り込んで来たとします。自動車と歩行者との間には大きな速度差が存在しますし、ましてや、あくまでも自転車が優先であり歩行者は間借りしているに過ぎないという理解が無い状態では、事故が起きるのはもはや当然でありましょう。かくして「東名高速は歩行者優先です」という看板が立つようになりましたとき。ね？あまりにもおかしな話ですよ？

府中の森公園付近の多摩川サイクリングロードは、土曜日の午後、無

法地帯化してしまっています。台形断面の土手を駆け上がってきた歩行者が左右の確認無しにサイクリングロードを横切るのです。川原でバーベキューをしている連中です。あのですね、このエリアには「バーベキュー禁止」と大書された看板がここに立てられているのですよ。そこで火を燃やし酔っぱらって、左右を確認せずにサイクリングロードを走って渡ろうとする。しかも子供連れ。滅茶苦茶めちゃくちやです。更に公共の水道にゴミを放置していく。ねえ捕つかまえちゃってよ、お巡りまわりさん！という感じなのであります。

腹の立つ話です。しかしそれがどんなに滅茶苦茶な振る舞いであろうとも、今となつては歴史的な経緯たてを盾に、サイクリングロードにおける自転車の復権を目指すなんて、既に意味をなさないでしょう。サイクリングロードに歩行者が流入するのは、既成事実きせいじじつであり、こういった慣習

を変えるのは困難であろうと考えられるからです。

どちらに優先権があるとか無いとか考えるからややこしくなるのであります。両者がサイクリングロードをシェアする気持ちで、最低限の譲り合いをすればよいのです。

こうした考えは既にサイクリストの中では浸透しつつあります。勿論なにも分かつちやいない馬鹿なサイクリストもおりますが、概ねサイクリングロードにおける最高速度は時速二十五キロ以下に抑えられているようです。更にやたらとベルを鳴らさない事も、少なくともロードバイクの間では定着しつつあるように思えます。歩行者に「すみませ〜ん」と声を掛ければ角かども立たないと云うものです。

ところが先日、浅川サイクリングロードでこんな事がありました。私

の前を一台のロードバイクが時速二十キロ程で巡航。私もこの自転車にあまり付き過ぎないように五メートル程あけて、走っております。前方に四人で横に広がって歩いているオバサマ発見。先行するロードバイクは速度を落としオバサマ達の歩行速度に合わせつつ「すみませ〜ん」と声を掛けました。その途端オバサマが「危ないじゃないの！横、通りなさいよ！」とキレたのでありました。八王子市立横山第二小学校付近での出来事です。他にも多くの歩行者がこのやりとりを見ており、皆、あまりの傍若無人な振る舞いに啞然としておりました。あぜん

ぼうじやくぶじん
道幅一杯に横に広がって歩いていけば、自転車だろうがジョガーだろうが、邪魔になるのは当然です。理由に関わらず広がって歩くほうが悪い。そんな事って子供でも分かるでしょう。どちらが優先かどうかなどという以前の問題であります。いい大人がみつともねえなあ。

悪いことしたときは、ごめんなさいっていうんだゾ。幼稚園じゃ皆そうしてるゾ。

白井儀人作の漫画「クレヨンしんちゃん」の中での、しんのすけのお言葉です。サイクリングロードの将来について論議しようとしても、相手が幼稚園生以下の思考しか出来ないのであれば、ディスカッションになり得ません。

こうなるとやっぱ法でガチガチに縛るしか無いのかなあ。なんか情けな〜い話であります。はあ〜。

ところがエチケツトとしてのアピールではなく、周りを油断させる為にダメダメのフリをする方がいらつしやいます。これがあまりにも露骨ろこつ過ぎるとなると、ちよつと格好悪い。

いやあタベ呑み過ぎちやってまだ頭ガンガン痛いし、しかも先週からちよつと膝ひざが痛くて中々本調子にならないんですよねえ。だからね、今日はバトルは一切無しの、あくまでもタラタラサイクリングって事でお願ひしますよ。峠たてなんて本当に久しぶりだし、登れる気がしません。タイム？滅相めっそうもない。とばす気なんてありません。それどころか足つかないように気をつけなきや。待てよ。サイクリングだもの、足つき有りていきましようよ。写真撮りながら登ります。ええ。サイクリングですか。ね。良いですね。今日はバトル無しで楽しく行きましようね。ねね。約束ですよ。

ここまで言いながら、いざ登り始めたら、ストップウォッチをリセットするや否や、全力で立ち漕ぎしながら前方に消えていく。何なんだよさつきの言い草は！しかも峠の頂上でまたも続きが始まるではありませんか。

いやあゝみなさんに迷惑掛けないようにと、一生懸命登りましたよ。余裕ゼロ。心臓なんかバクバクです。完全に限界でしたね。必死でした。途中何度も死ぬかと思いましたが。二日酔いだし膝は痛いし、足ついちゃおうかと何度も思いましたよ。死ぬ思いでした。いや何度か心臓止まりかけたかも。死ぬゝ死ぬゝって思いながら漕いでました。いやマジで今日はバトルは無しにしましょうね。これ以上やったら本当に死にますって。いやマジで。

あら、そう。なら、死になさい。

士郎正宗原作、押井守監督作品、攻殻機動隊の中の、草薙素子少佐のお言葉です。こういう振る舞いをする輩やからに限って、実は意外にも憎めない気のいい奴だったりして、また一緒にお出掛けしちゃうんですよねえ。ここまでやらかして嫌われないって、一種の人徳かも。

こういう人って一定の割合で存在します。「やべえ試験勉強全くやってねえ。留年確定だ。終わった」とか言いつつ高得点をマークしちゃうタイプ。でもこういう人の振る舞いって、事前に何となく分かると申しますか、何か感じますよね。え？どうやって感じるのかですって？

・・・そう囁くささやくのさ。俺のゴーストが。

僕は悔しさを味わいたくて

日本を出たのだ

【044】中村俊輔「察知力」より

私

は一人でサイクリングに出掛けるのが好きでして、これはひとえに、他人に気を使わないで済むのがその理由であります。グループサイクリングを好む方々から見れば奇異きいに映うつるかも知れませんが、待つのも待たれるのも私にとってはストレスの対象。その点ソロサイクリングは、トコトコと自分のペースで進み、自分のペースで休む事が出来ますので、随分と気楽なのでありますよ。

複数名で競い合った方が、結果としてアベレージスピードが上がる事は明白であります。運動強度を考えるのであればソロツーリングは分が

悪く、だからこそ多くの運動は集団で競い合いながら行われるのでありましよう。例えばプロ野球でも個人単位で行なう自主トレは、本格的な集団練習の下準備という位置付けに過ぎません。競争なしに一人だけでモチベーションを維持し続けるのは、プロでも難しいのでしようなあ。

ソロで走っていても、自分の運動能力の向上を、漠然とばくぜんであれば感じる事は可能です。しかし他人と競い合う程には、明確にそれを感じる事は困難であります。やはり時々は他人と競い合い、自らを試してみたい。出来得れば、運動能力の向上を具体的に感じてみたい。知り合いの方との競い合いにストレスを感じてしまう私は、多くの場合サイクルイベントに参加する事で、全く利害関係のない見知らぬ方との競い合いを通じて、こうした欲求を解消しているのであります。

前走者に頑張つてついていこうとする。う、速い。ジリジリと離され

ていく。追いつけない。こなくそ。でもダメ。相手が見知らぬ人である方が、こうした爽やかな悔しさを純粋に楽しむ事が出来るのです。そうです。純粋な悔しさは、それ自体を楽しむ事が可能なのです。

僕は悔しさを味わいたくて、日本を出たのだ。

中村俊輔著、察知力（幻冬舎）の中のお言葉です。誰もが悔しい思いをしたくないと考えがち。でもそれは利害関係の絡む中での悔しさを避けたいだけであって、利害の絡まない純粋な悔しさを感じる行為は、究極のリクリエーションとなり得るのであります。

私と中村俊輔選手の立ち位置は天と地ほども違います。しかし純粋な悔しさを楽しみたいという欲求は、きっと同じなのであります。しがらみのない世界で競い合う快感。昨今のサイクルイベントの隆盛は、りあっせい

こうした欲求に支えられたモノなのかも知れませんか。

会いたかった 会いたかった 会いたかった

イエス、君に

【045】AKB48「会いたかった」より

待

ちに待っていたピンク色の自転車、ボンバー号が納車となりました。

新車の購入の相談の為にマングローブバイクスを訪問したあの日から約三ヶ月半。大将から色々な話を聞き、細部に渡る仕様決定のプロセスを経て、この度めでたく納車と相成あいなつた訳であります。

実際に購入に向けて具体的なアクションを取り始めてからの期間は三ヶ月半でありましたが、2007年に禁煙をし、同時にマウンテンルック車を購入して自転車に傾倒していったあの頃から、既にボンバー号との出会いは、実は運命付けられていたのではないかと思っております。

私は決して運命論者ではありません。否、それどころか、常に未来は自らの才覚によって十分に変更可能だと信ずる者でありまして、運命として既に決まっていたという考え方に対して違和感を覚える事が有りこそすれ、はつきりと肯定する事など今までは無かったです。

禁煙とともにマウンテンルック車をゲット。スリックタイヤに換装した後、更なる高みを求めて新たにロードバイク、ピナレロFP2号を購入。URIBOZの仲間にも巡り会い、イベントやロングライドを経験しつつ、今回のボンバー号の購入まで、実は一点の揺らぎもブレも遠回りもありませんでした。自転車への傾倒の事だけを考えれば、まさしく最短距離を突っ走ってきたのであります。いかな理系の私であっても、ここに何らかの運命や、大きな意志の存在を考えてしまうのも無理からぬ事でありましょう。

はなは

甚だ唐突ではありますが、今回のボンバー号の購入は、子供を授かる事に似ているのかも知れません。生物学的・遺伝学的に考えれば、例えば私が二人の息子を持つに至ったのは、単に偶然の積み重ねとりボ核酸のマージの結果に過ぎないと表現出来ます。しかし一方で、かみさんと知り合ったその瞬間ときに、この二人の息子が我々に授けられる事は、神によつて運命付けられていたとも云える訳であります。

思えばこの三ヶ月半の私のボンバー号に対する思いは、お腹の中の赤ちゃんに語り掛ける母親の心境に近かったのかも知れません。まだ見ぬ君に思いを馳せは、出会う喜びよろこに打ち震える。嗚呼、その想いもとうとう叶かないました。ボンバー号は今私の目の前にあるのです！

会いたかった、会いたかった、会いたかった、イエス、君に

2006年10月25日発売のAKB48のシングル「会いたかった」
よりのお言葉です。実際は単に自転車と云う工業製品を購入したに過ぎ
ないのであります。しかし自分仕様の自分の為だけのオーダー自転車。
単なる物品購入とは趣を異にします。しかも納車までに数ヶ月間かかり、
その途中経過に一喜一憂いっきいちゆうして参りました。まるで徐々に大きくなる女房
のお腹に耳を当て、子供が産まれるのを一日一日待っていた、あの去り
し日の思い出のようではありませんか。そのボンバー号が今、目の前に
あるのです。息子たちは既に高校生と中学生になり、ちよつと常識では
考えられない程の大飯を食らうようになりました。生まれたばかりのあ
の可愛かわいさなど、微塵みじんもありません。それに比べてこのピンクに輝くボン
バー号の美しさ、愛しさと言ったら！嬉しい。まさに宝物であります。

敬遠は「度覚」とクセに「リンゴ」で

【046】あだち充「タッチ」より

都道521号線、通称、陣馬街道を西に向かいますと、陣馬高原下から頂上まで激坂区間が続きます。都下のサイクリストに「鬼の和田」と呼ばれリスペクトされている、和田峠であります。

この峠、距離的には3.6キロメートルと大した事はないのですが、平均勾配が10.8パーセントと、その斜度は半端ではありません。ゆっくり登れば足つきなしで頂上に着く事自体は可能とはいえ、それにしても決して楽に登れる峠ではないのです。和田峠のタイムは、陣馬高原下のバス停前の廃屋の柱をスタート地点とし、和田峠石碑前をゴールとする区間の走行時間によって測られます。この区間で二十分を切

ると、ヒルクライマーとしては一人前と言われております。

八王子市川原宿交差点を西に入ると、道は急に田舎の雰囲か気わに包まれます。おんがた恩方の集落を抜け、北浅川沿いを縫ぬうように進むと、川面かわもを流れる涼しい風が心地よく、道は登りではありませんが決して激坂と呼ばれるようなものではありません。勿論登りですからオーバーペースでは疲弊ひへいしてしまいましたが、普通に漕いでいけば、じきに夕焼け子焼けふれあいの里が見えてきます。

私は和田に行く際の往路はいつも、夕焼け子焼けふれあいの里には立ち寄らないようにしています。この先、道は恩方第二小学校の角を左折して、一気に山道区間に入る事になります。決して楽な道ではありませんから、往路に夕焼け子焼けでしつかり休んでしまうと、もうここに来ただけで満足してしまつて、肝心の和田峠に登らず帰つてしまいそうで、

敢えて寄らないように自分を律しているのです。

和田峠は、登りきった達成感がありますが、その区間を走って楽しい道ではありません。ほとんど修行の世界。今までに何度となく登ってはいますが、慣れると云う事の無い過酷な道です。未だに必ず途中で足を着いちやおうかどうしようか悩みますからね。

夕焼け子焼けまでの麓ふもとの区間は、景色のよい空気の旨い、それでいてそれなりの登り勾配で、サイクリングとしてはかなり満足の出来るルート。対してここから先は、修行とも呼べる急勾配が続く過酷な道。折り返すのは簡単です。既にサイクリングとしての満足感も爽快感も味わい済みな訳ですからね。でも、一度でもここで折り返したら、もう二度と和田峠に登れない体質になってしまいそうで、往きに夕焼け子焼けに寄る事は、げん厳に禁忌きんきとしてきたのであります。

敬遠は一度覚えるとクセになりそうで

あだち充のマンガ「タッチ」の中の上杉達也のお言葉です。夕焼け子
焼けで休まないで一気に和田峠を目指すという、一見ストイックな行動
は、実はすぐになれ合ってしまう意志薄弱な私の性格を押さえ込む為の、
苦肉の作戦なのであります。

七月十七日（日）は、URIBOZの仲間と小仏峠の珈琲自家焙煎の
店ふじだなで午後一時に待ち合わせをしておりました。ふじだなに直行
するのではあまりにも近過ぎますので、和田峠に登頂してから小仏に向
かう事にして、万願寺基地を出発。約束の午後一時には十分に余裕があ
ります。すると程なく、ともちんさんに遭遇。結局一緒に和田峠に向か
う事になりました。

浅川に掛かる水無瀬橋から陣馬街道に入り、二人で先頭交代しながら和峠を目指します。おんがた恩方のだらだらとした登りを時速三十キロで快調にとばします。ひやゝ、こりゃ快調を通り越して、かなりキツイペース。普段一人で和田に向かう場合、こんなハイペースで漕ぐ事はありません。ともちんさんの前に出て蓋ふたをする形でペースダウンさせなければ、という一心で、無理矢理ペダルを踏んで彼の前に出ます。前方に割り込んでいきなりブレーキを掛けるのは危険ですから、ある程度の区間は時速三十キロ超のハイペースで前を引き、徐々に彼のスピードを落とさせようと試みるのですが、そうすると今度はともちんさんがペダルを踏み込んで私の前に出てしまいます。

ペースを落とそうとしているにも関わらず、結果として時速三十キロを割り込む事無く、ハイペースで先頭交代しながら、夕焼け子焼けに到

着。もう限界です。心拍は百七十台後半。普段は敢えて寄らないようにしている夕焼け子焼けの里ですが、たまらず避難です。

汗はダラダラ、喉はカラカラ。ともちんさんとアイスを食べて休憩です。ひやく生き返る。やはり疲れた時はアイスに限りませなあ。ここで、はっちさんから入電。はっちさんも和田峠に向かっていて、もう少しで夕焼け子焼けに到着するとの事。おお。それじゃ折角なんで、はっちさんをお待ちしようという事で、結局トータルで一時間以上も夕焼け子焼けでダラダラしておりました。

はっちさんが到着するも、既に心は折れてしまっている状態。誰が言い出すでもなく目と目で合図しながら登頂断念を決定。いそいそとランチに向かったのであります。

あれ程厳格に禁忌きんきとしてきた、夕焼け子焼けでの折り返し。ついにや
つてしまったのでありました。もしかしたら、もう二度と和田峠にアタ
ック出来ない体質になってしまったかも知れません……。マズいなあ。

今日やらんと「生後悔するぞ」

みんなそうやって死んでくしゃ

【047】水野敬也「夢をかなえるゾウ」より



泊で全て自走のロングライドに出掛けてみたい。これは以前からの

私の望みでありました。過去には軽井沢や糸魚川いとがわにサイクリングした事

も御座います。しかしこれらの機会では、あくまでも帰りは輪行であり、

全行程に渡って自走する事はありませんでした。

私にとって一日の自転車での走行距離は、160キロ⇨100マイル
が一つの目安であります。勿論、160キロを越えて出掛けた事も何回
かあります。しかし大概の場合、200キロ超の行程は翌日に深刻な
疲労が残ってしまうのです。翌日に影響を与えない範囲でのサイクリン

グを考えますと、一日の走行距離は160キロを越えないようにしたいのであります。

自走で160キロのコースでは行き先はかなり限られてしまいます。

大月から富士吉田を回って山中湖から道志街道を戻ってくるルートですとちようど160キロ。確かに手頃で楽しいルートではありますが、割ひんばんと頻繁に出掛けていたら、最近飽あきてきてしまいました。もつと遠くへ行ってみたい。でもその為には輪行が必須になってしまいました。

輪行は非常に気楽です。困れば電車に乗っちゃえば良いんですからね。

でも些ちひさか、忙せわしないのが難点と云えましょう。早朝に家を出て、帰宅は夜十時過ぎですから、かなり疲労もします。そこで思いついたのが一泊ツーリング。一日目で160キロ進み、その晩は現地でゆったり宿泊。翌朝現地を出て160キロ戻ってくるという方法です。

ところがいざ実践しようとなると、どうしても躊躇ちゆうちよしてしまうのです。

現地に一泊するとは云え、合計で320キロのツーリングです。実際に走りきれぬのだろうか。途中で雨が降ったらどうしようか。こんな事を考え始めますと、中々実行に移せないのです。

今日やらんと一生後悔するでえ。みんなそうやって死んでくんや。

水野敬也著「夢をかなえるゾウ」の中のガネーシヤのお言葉です。そうなのです。考えているだけではなく実行に移さなくては、機会はどんどん失われていってしまいます。ましてや天候や体調や家庭の用事や仕事の具合が全てドンピシヤリでなければ成り立ち得ないこの計画において、躊躇して実行に移す勇気が出ないというのは、どんどん実現は遠のいていくばかりです。

今年の夏こそ、思い切つて一泊ツーリングを実行に移してみようかな
あと思うのであります。

でもそれ 自分で決めたいだろ

【048】辻村深月「スロウハイツの神様」より

自転車で坂を登っていて途中で足を着いてしまう事は、割と少なくなりました。根性がついたのでもなければ体力が向上したのでもありません。狡^{ずる}さを身につけたのであります。

よほど げきさか
余程の激坂を除き、自分のペースを崩さなければ、足着きなしの登頂はそれ程難しいものではありません。逆にタイムを追い求めたり、前走者を追いかけたり、自分のペースが崩れた状態での登坂は、みるみるパフォーマンスが低下していくのが分かる程、過酷なモノになります。タラタラと省エネで登坂する狡猾^{こうかつ}なやり方を駆^く使^しする事で、こんな私でも何とか坂を登れるようになったという訳であります。

先日、相模湖のダヤンカフェに行こうと、大垂水峠をタラタラと西進しておりました。前方二百メートル程のところに十台位のロードバイク集団が見えます。私と同じように相模湖に行くべく峠を登っている人たちであります。よし、あの集団に追いついてみよう。そう決心を固め、漕ぎに集中します。

八王子あずさ霊園を過ぎた辺りでやっと集団に追いつきました。見たところ大学生らしき男女混合のグループです。ロードバイク半分、クロスバイク半分といった構成。自転車を右に振って追い越しを掛けようと思います。と、いつの間にか私の後ろに一台のロードバイクがついているではありませんか！いつの間に後ろにつかれたのでしょうか。後方確認する瞬間、眼が合いました。ややや、妙な雰囲気。

集団の走行を邪魔しないように右側に膨らむ形で抜かしの掛かります。

車道に張り出していますから、なるべく速すみやかに抜かそうと考えて、立ち漕ぎに切り替え、グイグイ登ります。心拍180bpm。意外にこういうシチュエーションが苦しいんですよ。無言で抜くのも変なので「こんちうゝす」と集団に声を掛けながら抜かしていきますと集団の中の一人が「うわ、すげ。こんなところで競争つすか」と宣のたまうではありませんか。はっと右を見ると例のロードバイクが私を抜かそうとしています。道路交通法で言うところの二重追い越し。やる気満々です。よゝし、なんか速そうだけど、とりあえずコイツについていく事にします。女の子も見てるしね。

超速かつたらすぐ諦あきらめるつもりで奴の後ろにピタつとつけました。デローザのカーボンバイクです。でもジャージはピナレロ。変わった人です。あります。

ちよつと安心しました。ダメダメな私でもちよつと無理すればついていけそうなペースです。相手は私と同じただのオサッンなのであります。ちよつと失礼かなとも思いましたが、ピッタリ後ろに張り付きます。

ま、いいやね。無言で無理に抜いたのはそつちだしね。東寒葉橋付近で

ひがしかんば

相手のペースがちよつと落ちてきました。むむむ。こちら汗ボタボタで心拍180台半ば。全然余裕がない状態ではありますが、ここは抜かすチャンスであります。思い切って一段重いギアに入れ、立ち漕ぎで抜かして掛かります。

よゝゝし、抜かしました。えへん。どうだ。俺の。方が。速。いん。だぜ。

げ。何と、奴は再度私を抜かそうとしているではありませんか。うえゝん。もう足も体力も根性も残っていません。しょうがないもんね。別

に勝負に負けたっていいもんね。俺、十分に頑張ったもんね。勝負しようなんて一言も言っていないもんね。俺、今日は、サイクリングに来てるだけだもんね。

でもそれ、自分で決めたんだけ

辻村深月著「スロウハイツの神様」（講談社文庫）からのお言葉です。そうなんです。追い掛けるって自分で決めたんですよ。なのに最後の最後に言い訳を使っちゃいました。頂上まであとたった二百メートルだったというのに。なんか最近、常に言い訳を探している私なのであります。あ、かつこわる。

どう深刻に考へ込まないで

いい意味でも悪い意味でも

まわりは そんなに深く

君のこと気にしてないって

【049】宮部みゆき「スナーク狩り」より

ち

よつと前のお話であります。その日私は都道158号線、通称、尾

ねかんせん

根幹線を東に向かって自転車で走っております。宮ヶ瀬にサイクリン

グに行った帰り道、尾根幹線から、グリーンウォーク多摩という郊外型

のショッピングセンターの交差点を左折して、日野に帰ろうとしていた

のであります。

尾根幹線は、町田と矢野口・多摩川原橋を繋ぐ道で、東京多摩地区のサイクリストの間では、ロードの練習コースとして有名なルートです。適度なアップダウンがあり、きっちり追い込み練習をする事が出来ます。ともかく全線に渡り路側帯が広く、とても走りやすいのであります。休日ともなりますと、カラフルなサイクルジャージを身にまとった多くのサイクリスト達がロードバイクに乗って走っている姿を見る事が出来ます。練習コースとしても秀逸しゅいつですし、更に津久井やヤビツや道志街道と、多摩川サイクリングロードとをつなぐバイパスとしての役割も高く、とにかくロードバイクがたくさん走っている道なのでありますよ。

グリーンウオーク多摩を左に見ながら尾根幹線を下っていきます。谷底に当たる部分は交差点になっていて、この交差点からは尾根幹線は登りに転じます。ほとんどのサイクリストはここを直進して読売ランド方

面に向かいます。でも私は万願寺基地に帰る為に、ここを左折して東京薬科大の方に向かうのであります。

私の前には二十人程度のお揃いのジャージを着た集団が走っております。ゆっくりペースではありませんが、決して速いペースではないこの集団。見た感じ、ゆる系のチームの走行会という感じでありました。ロードバイクにおける二十人程度の集団というのは、実際、かなりの大集団であります。これだけの集団になりますと信号で寸断されたり、後続の車の邪魔になってしまったりする可能性がありますから、普通は五人程度ずつの少人数グループに分かれて行動するのがセオリーなのですが、彼らは二十人のまま、まとまって行動しておりました。私としても我慢できない程ではないにしろ、抜かして前に出たい位の、微妙なペースではありました。しかし二十人もの大集団を一気に抜かすスキルも勇

気もありません。仕方がなく彼らの後ろについて走行していたという訳であります。

ああ、やつぱり。心配していた通りの事が起こりました。集団が交差点を通過中に、前方の信号が黄色から赤に変わろうとしています。皆、集団から遅れたくない事、すり鉢状の交差点を情性で登りたい事から、集団の後半はガンガン信号無視をしていきます。危ねえなあ。後ろから見ておきますと、交差側の信号が青に変わり、車が流れ始めました。激しいクラクション。そりやそうでしょう。完全に信号無視している訳ですからね。こりやロードバイクが一方的に悪い。結局、集団の最後の人だけが交差点を渡る事をあきらめ停止線で停まり、残りの集団は、無理矢理交差点を渡り、坂を登ってしまいました。

この時私は集団最後尾から五メートル程離れて走っております。一

人残された集団最後尾の人にピタリと付く形で、信号が青に変わるのを待ちます。信号が変われば彼は直進して集団を追い、私は左折して万願寺基地に帰る訳です。それにしてもこの人、落ち着きがありません。ペダルに靴を固定する、SPD・SLのクリートをパツチンコン、パツチンコン、パツチンコンと、貧乏揺すりびんぼうゆよろしく、ハメたり外したりしてはずいます。集団に追いつかねばと考あえて、焦あせっていたのかも知れませんか。

信号が青に変わりました。と、その時です。前のパツチンコンちゃんおやの挙動あやまがおかしい。スタート時にバランスを崩してちよつと足をつこうとしたようなのですが、悪いタイミングでパツチンコンとクリートがはまってしまったようなのです。時間にして約一秒弱。ゆっくりと右に傾いたかと思うと、そのまま立ちゴケしてしまいました。

信号が青に変わって車が流れ始めるタイミングでの右側への立ちゴケ

です。後続車に轢かれてしまう可能性すらあります。私はとっさに後続車に大きく手を振って、右側に大きく迂回するよう誘導を始めました。肝心のパッチンコンちゃんは、焦ってしまつてクリートが中々外せません。寝転がってバタバタしています。やつとクリートを外して彼が立ち上がった時には、信号はすでに赤に変わつておりました。

パッチンコンちゃんは相当恥ずかしかつたのでありましょう。私に対して、一切話し掛けてきません。ま、恥ずかしい場面の一部始終を私に目撃されましたからね。お礼を言うより何より、まずはその場を退散したい一心だったのでありましょう。分かります分かります、その気持ち。

おや。信号が青に変わつて、パッチンコンちゃんはいきなり交差点を直進せずに、さつと左折しました。お仲間の集団は直進していったのであります。パッチンコンちゃんは集団を追いかけねばなりませんから、

ここを直進する筈なのです。おそらくパッチンコンちゃんは、私がこの交差点を直進すると思ったのでしょう。事件の目撃者たる私から離れた一心で、敢^あえて左折したのだと思われます。ところがどっこい、私は初めからここを左折する予定でありました。多摩丘陵は、まだまだ自然のままの山が残っていて、道が碁盤ごばんの目になっていないのであります。

左折ポイントを間違えると、山を回避する形で大きく遠回りをせざるを得なくなってしまうのです。パッチンコンちゃんの事を考えてあげるのならば、知らんぷりしてここを直進するのが大人の振るまいかも知れません。しかし私としましても、宮ヶ瀬からの帰りこりで些か疲れておりまして、これ以上の遠回りは、ちよつと面倒であつた訳であります。

パッチンコンちゃんには悪いと思いましたが、彼に続き私も交差点を左折しました。彼は、私が当然直進するだろうと思つていたのでしよう。

私が左折するのを見て、パニック状態になったのが分かりました。いきなり立ち漕ぎしたかと思うと、全力で京王堀之内駅の方に向かって坂を下っていきます。下りとは云え推定時速45キロ。駐車車両が多い市街地で時速45キロとは、尋常な速度ではありません。きつと私から逃れようと必死だったのでありましよう。

時として神様は意地悪であります。別所のファミマの交差点で引つかかっていたパツチンコンちゃんに追いついてしまいました。私に悪気があった訳ではないのです。たまたま帰り道がこちらなのです。特に追いかけるつもりもないのに、信号のタイミングで追いついてしまっただけなのであります。本来は尾根幹線を直進する筈だったパツチンコンちゃんさいの行動の方が奇異さいなのであります。

追いついた途端、パツチンコンちゃんは自転車を歩道に上げ、こちら

を振り向くなり「もう、勘弁して下さいよう」と宣いました。きつと彼

のたま

は私がパツチンコンちゃんを心配して後をつけてきたのだと勘違いしたのでしよう。あるいは、「助けてやったのに挨拶も無しに行きやがって」と私に云われると思ったのかも知れません。こりや誤解は永遠に解けねえだろうなと思いましたが、説明するのも面倒なので「私、家、こちらなんで、失礼しまゝす」と軽く声を掛け、歩道に佇むパツチンコンちゃんを置き去りにして、万願寺基地を目指したのでありました。

たまた

そう深刻に考え込まないで。いい意味でも悪い意味でも、まわりは、そんなに深く、君のこと気にしてないって。

宮部みゆき著「スナーク狩り」（光文社文庫）からのお言葉です。そうですね。自分かと思う程、周りは自分など見ていないものなんですよね。それにしても、あれよあれよというタイミングで、結果として

パツチンコンちゃんを追い込んでしまいました。ゴメンねえ。全く悪気はなかつたんだよ。

「に止まると書いて正しい」という意味だなんて

この年になるまで知りませんでした

本当に正しい事というのは

「一番初めの場所にあるのかも知れませんか

【050】夏川草介「神様のカルテ」より

先

日、とある自転車関連のムック本を読んでおりましたら、クリート

位置の調整のお話がありました。あ、ご存じのない方に一応ご説

明申し上げますと、クリートと云うのはシューズを自転車のペダルに固

定する金具の事であります。スキーのビンディングのようなものとお考

え頂ければ宜しいかと。クリートについては、現在、いくつかの規格が

存在しますが、私はSPDというシマノの規格のモノを使っています。

足をペダルに固定するのが怖いと感じるのは、初めだけでありまして、固定される事に慣れてしまいますと、逆にビンディングペダル無しでは過ごせなくなってしまう程、漕ぐ効率は向上致します。ペダルに足を固定する事で、踏むだけでなく引き上げる力も推進力に変える事が出来るようになるからであります。また、足を踏み外す心配がありませんから、クルクルと速くペダルを回す事が出来るようにもなります。

ペダルに対しての足裏の位置調整は、シューズ側のクリート取り付け位置を変更する事で行ないます。これが思った以上にセンシティブな作業。取り付け位置が一ミリズレただけで、私のような者にもその違いがはつきりわかる程であります。件のムック本^{くだん}には、こうしたクリート位置の調整に関する特集が掲載されていたのでありました。

まずは現在のクリート位置を正確に記録します。細いマジックで靴裏^{くつうら}

に印を書き込むと共に、それをデジカメで撮影。後でどうしようもなくしろしなつてしまった時に、元の状態に戻せるようにしておく為の方策であります。実は、現在のクリートは、マングローブバイクスでローラー台に乗せたボンバー号を漕ぎながら、大将に調整して貰ったのであります。折角、大将に決めて貰ったポジションですから、そのデータは保存しておこうという訳です。

セッティングは日野万願寺基地を中心に、近所を試走する形式で行なう事にしました。万願寺基地内でクリート位置を変更し、基地の周りを実走して感触を確かめ、また万願寺基地に戻って位置を変更、という感じで調整を繰り返していきます。まずはクリート位置をつま先側にブラしてみました。以前よりもつま先寄りでペダルを踏む事になります。この状態で浅川サイクリングロードを走ってみますと、フムフム、かな

り良い感じでペダルが回せます。

ある程度セッティングが煮詰まって参りましたので、この設定で登りも試してみる事にます。聖蹟桜ヶ丘駅前せいせきさくらがおかから連光寺坂れんこうじを全力で登ってみます。すると、あれれ。ふくらはぎが攣りつ気味になってしまっただけではありませんか。こりやいかん。こんな距離こんな場所で足が攣った事など今まで一度も経験ありません。そう云えばムック本にも、クリートを前に出すとふくらはぎの負担が増えて、人によっては攣りやすくなると書かれていましたっけ。

一旦、万願寺基地に戻り、今度はクリート位置を後ろに下げてみます。こうした調整の為に、万願寺基地と連光寺坂を三往復も致しました。本当は工具を持って行って現地で調整すれば良いのですがね。いや実際に常に応急処置用の折りたたみ工具は携帯している訳ですが、路上での

調整は一切行わず、敢えて万願寺基地まで戻ってセッティングを変更し、また路上に試走に出るといふ行為を繰り返したのであります。

やむを得ない緊急の修理以外、出先では処置を行わないのが私のポリシーです。これは自転車に限った事ではなくオートバイでも何でもそう。応急処置用の工具は応急処置用に過ぎず、精度もいい加減ですから、ミスの確率も非常に高くなります。例えば出先でボルトをなめてしまったとしたら、もうどうする事も出来ません。これが万願寺基地であれば、リコイルを掛けてボルトを抜く事も出来ますし、そもそも精度の高い工具を使いますからこうしたミスの確率は著しく下がります。しかも万願寺基地には、あらゆる太さ、長さの新品のボルトが在庫されていますから、多少のミスならどうにでも対応可能という訳です。例えばミスによる故障が発生しても「どうやって帰ってこようか」という事で悩む必要は

ありませんしね。本当に困ったら車に積んでマングローブバイクスに持っていけば良い訳ですし。

連光寺坂との往復を繰り返したのはそれだけの理由ではありません。万願寺基地から聖蹟桜ヶ丘までは平地、そこから連光寺坂頂上までは急坂を登り、南多摩駅までは緩い坂を下ります。南多摩駅から折り返して緩い坂を登り返し、連光寺坂頂上から聖蹟桜ヶ丘までは急坂の下り。そこから万願寺基地までは再び平地を走る事になります。このコースを往復するとあらゆるシチュエーションを試す事が出来るのであります。登りが良くても平地で違和感が出るかも知れませんし、急な下りを時速60キロ位で走る事で、120rpm以上の速度でクランクを回す試験も出来ます。クリート調整にはもってこいのルートなのであります。

丸一日掛かって、ようやく納得の行くポジションが得られました。調

整を繰り返した結果、靴裏には様々な色のマジックで何本もの線が引かれた状態になりました。ところがですねえ。実はちよつとシヨツクな結末だったのでありますよ。これだけ時間と労力を掛けて微調整を繰り返したにもかかわらず、結果として最終的に最も納得出来たクリート位置は、以前、マンガで出して貰ったポジションと一ミリの違いも無く、ピツタリ一緒だったのであります。

一に止まると書いて、正しいという意味だなんて、この年になるまで知りませんでした。本当に正しい事というのは、一番初めの場所にあるのかも知れませんね。

夏川草介著「神様のカルテ」(小学館)からのお言葉です。孫悟空がお釈迦様の掌てのひらから出られなかつた様に、自分なりに色々試しても、結局、マンガの大将のセッティングを越える事は出来ないものでありませんようか。

一日掛けて書き込んだ様々な色のマジックの線をパークリーナを染み込ませたウエスで拭きました。これで完全に元に戻った訳です。今日一日のあのセッティング&試走の手間は何だったんでありましようか。嗚呼、この話を聞いた時のマンガの大将のニヤニヤ笑いが目に浮かぶようでありますよ。ちえ。

この作品は、2010年9月から2011年8月に、<http://yaszone.jp>に掲載されたものです。

今週のお言葉

平成二十四年十月五日初版発行

著者 Yas

発行者 <http://yaszone.jp>

落丁・乱丁本はお取替え致します。

© Yas / YasZone 2012 Printed in Japan